令和６年度

教育委員会の事務に関する

点検・評価報告書

令和７年 11 月

玉野市教育委員会

目　　次

◎　令和６年度基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

◎　玉野市教育振興基本計画の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

◎　玉野市教育委員会の機構及び事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・　3

◎　令和６年度教育委員会の活動状況
(1) 教育委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
(2) 令和６年度教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・　4
(3) 教育委員会議決案件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
(4) 教育委員学校等視察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
(5) 教育委員先進地視察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
(6) その他の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

◎　令和６年度教育費決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

◎　令和６年度主要事業の点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
施策①　充実した子育て環境の提供・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13
施策②　教育環境の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21
施策③　学校教育の充実と地域人材の育成・・・・・・・・・・・・・・・　24
施策④　生涯学習活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　35
施策⑤　芸術・文化活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　44
施策⑥　スポーツ活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　51

◎　学識経験者による意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　56

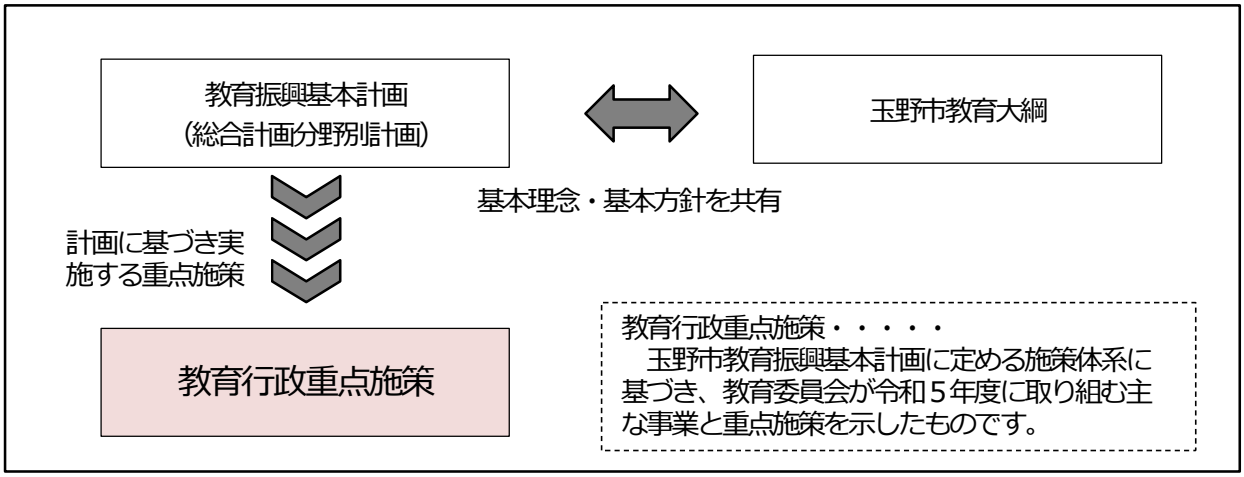
【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第二十六条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たつては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和６年度　教育行政重点施策　基本方針

本市は、玉野市教育大綱、玉野市教育振興基本計画（玉野市総合計画分野別計画）に基づいて教育行政を進めます。その中で、現在の社会状況やこれまでの取組状況を踏まえ、政策別に、今年度、特に力を入れて取り組むべき内容を「教育行政重点施策」として掲げました。

施策・事業の実施にあたっては、教育委員会が積極的に情報を発信し、関係諸機関や教育関係団体との連携のもと、広く市民の理解と協力を得ながら取り組みます。



玉野市教育大綱　基本理念

「　たまので育つ、TAMANOが育つ　」

子育てのしやすい環境の整備や様々な学びの場の充実など、「人が育つ」まちづくりを進めるとともに、玉野に愛着を持つ人を増やし、まちの活性化に繋げることで、みんなでまちを育てていきます。「まちが人を育て、人がまちを育てる。」そうした好循環を生み出し、誰もが見てみたい、行ってみたい、いつまでも住み続けたいと感じられる、将来にわたって魅力的なまちであり続けることを目指すため、次の施策を実施することにより、人の「育ち」を支えます。

玉野市教育大綱　基本方針

1　希望をもって安心して子育てできるまち

子育て環境が多様化する中、結婚、妊娠、出産、子育て、仕事と育児の両立などに対する様々なサービスの充実や環境整備、ライフステージの各段階に応じた切れ目のない支援を行うことで、子どもも大人もみんなが希望をもって暮らせるまちを実現します。

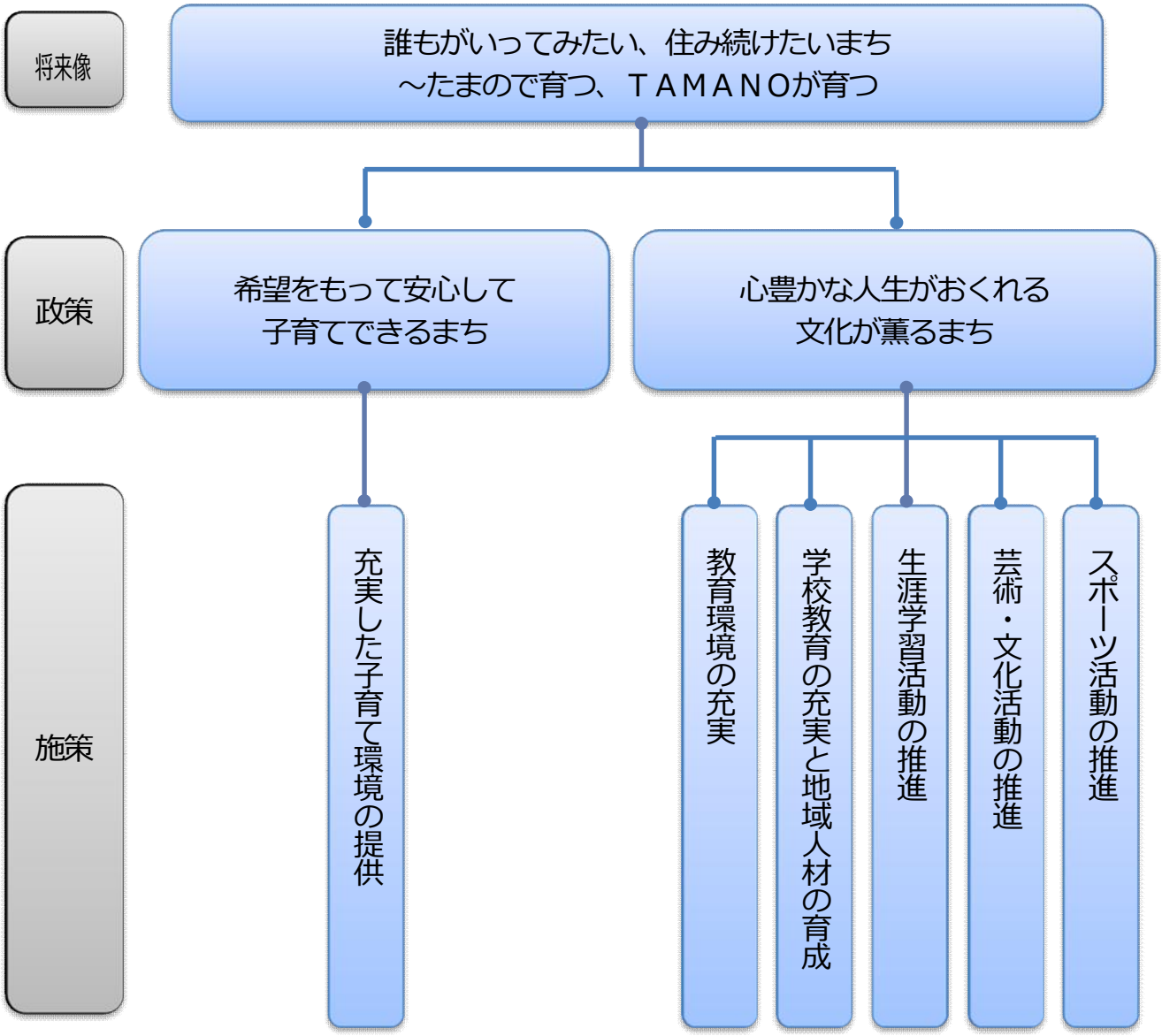
①充実した子育て環境の提供

2　心豊かな人生がおくれる文化が薫るまち

グローバル化、デジタル化に対応した特色のある教育や、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む学校教育を推進することで、自分の将来に夢と責任を持ち、将来にわたって自己実現を目指すために必要な力を育みます。また、多彩な文化・芸術、スポーツが身近にあり、気軽に楽しめ、生涯にわたり充実した学習や活躍の機会が提供されることで、喜びや感動に満ちあふれた豊かな人生をおくることができるまちを実現します。

①教育環境の充実
②学校教育の充実と地域人材の育成
③生涯学習活動の推進
④芸術・文化活動の推進
⑤スポーツ活動の推進

玉野市教育振興基本計画
（玉野市総合計画分野別計画）



豊かな心と確かな学力を身につけ、自分の夢に向かって歩む子どもの育成

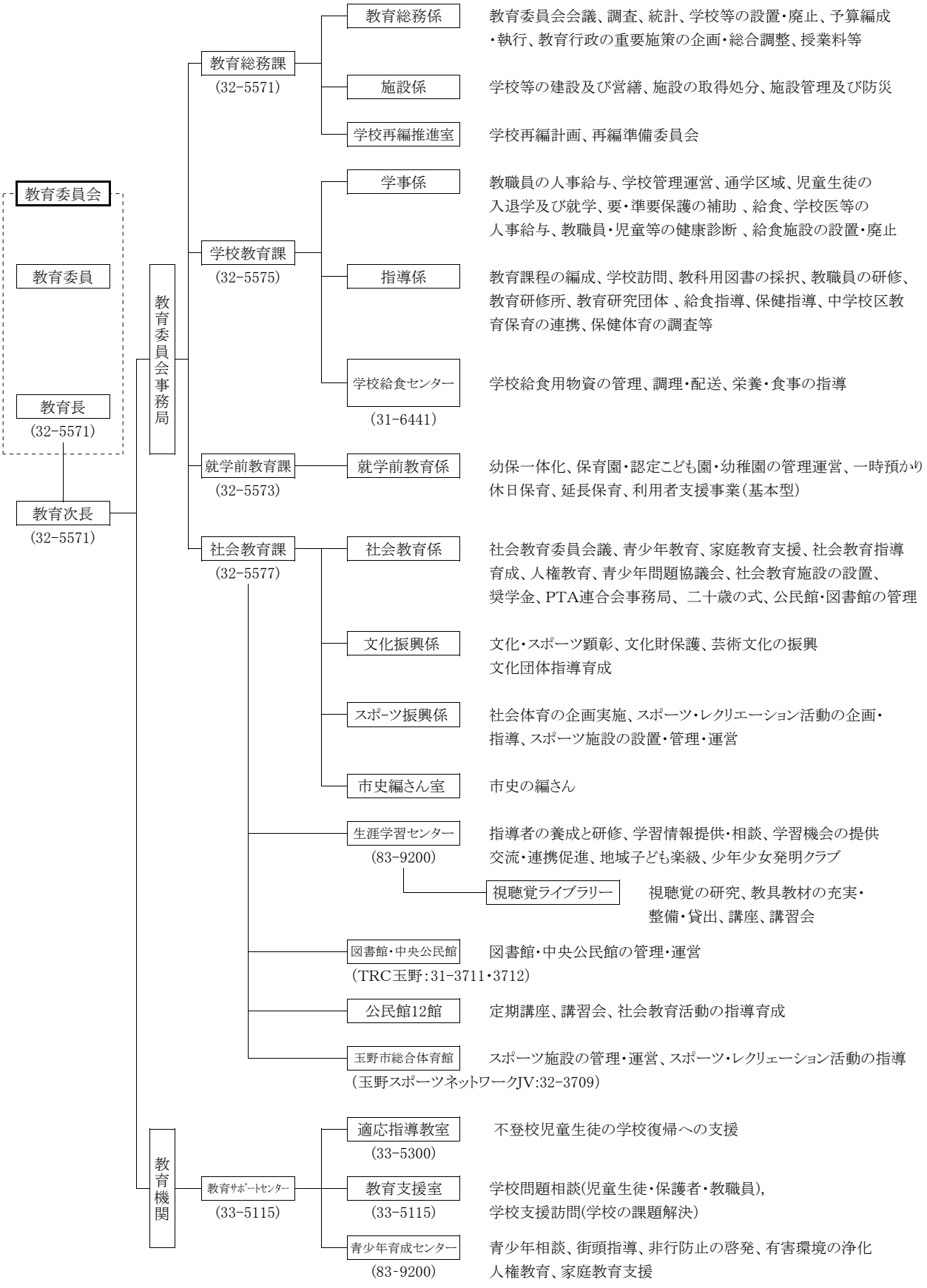
たくましく！まなんで　のびるたまのっ子

玉野市教育委員会では、このスローガンのもと、様々な取組を推進しています。

中学校区一貫教育とコミュニティ・スクールを支える地域学校協働本部事業で地域とともにある学校教育・保育の充実を目指します。

玉 野 市 教 育 委 員 会 の 機 構 及 び 事 務 分 掌

［令和７年３月３１日現在］



令和６年度教育委員会の活動状況

（1）教育委員（令和７年３月 31 日現在）

役 職 名	氏　名	就任年月日	現　任　期
教　育　長	多田　一也	令和５年４月１日 １期目	令和５年４月１日～ 令和７年９月 30 日
教育長職務代理者	二宮　崇	令和４年４月１日 １期目	令和４年４月１日～ 令和８年３月 31 日
委　　員	三宅　英次	令和３年４月１日 １期目	令和３年４月１日～ 令和７年３月 31 日
委　　員	横山　純子	令和５年４月１日 １期目	令和５年４月１日～ 令和９年３月 31 日
委　　員	小野　文子	令和６年４月１日 １期目	令和６年４月１日～ 令和 10 年３月 31 日

（2）教育委員会 会議開催状況　　（　　）は非公開

※会議は非公開で実施しているが、会議録公開時点において内容が既に公表されていることから会議録を公開しているものについては、公開として記載

開催日	教育長報告	議事	協議	その他	開催日	教育長報告	議事	協議	その他
4/4	1	1	2		11/6	1		(1)	1(1)
4/23	1	3	2(1)	2(1)	11/20		1(1)	1(3)	3
5/22	1	3(4)	1(1)	1(1)	12/25	(2)			3
6/12		3(1)	(1)	1(1)	1/22	1	1		
7/10		4	2	6	2/5	1	1	1	1
7/24	1	(1)	1	1(1)	2/18		4	(1)	1
8/7		(2)			3/5			(1)	2(1)
8/21	1	(1)		1(1)	3/25		9	6	1
9/26			1	1(1)					
10/10			(1)						

計	教育長報告	議事	協議	その他
18 回	10	40	27	33

（3）議決案件

No.	月　日	議 決 事 項
1	4月4日	玉野市スポーツ推進委員の委嘱について
2	4月23日	玉野市地域学校協働活動推進員設置要綱の一部改正について
3	4月23日	玉野市地域学校協働活動推進員の委嘱について
4	4月23日	玉野市公民館運営審議会委員の委嘱について
5	5月22日	令和６年度６月補正予算案（教育委員会関係分）について
6	5月22日	玉野市教育委員会非常勤講師等の勤務条件に関する規則の一部改正について
7	5月22日	令和７年度使用玉野市立義務教育諸学校の採択基準について
8	5月22日	令和７年度使用玉野市立高等学校の採択基準及び選定について
9	5月22日	玉野市教科用図書選定委員及び玉野市教科用図書研究委員の委嘱について
10	5月22日	玉野市奨学生選考委員の委嘱について
11	5月22日	玉野市立図書館協議会委員の委嘱について
12	6月12日	玉野市社会教育委員の委嘱について
13	6月12日	たまのっ子育成支援委員会委員の委嘱について
14	6月12日	玉野市部活動地域移行検討委員会委員の委嘱並び任命について
15	6月12日	令和６年度玉野市奨学生の選考結果について
16	7月10日	令和６年度玉野市立高等学校入学者選抜実施大要について
17	7月10日	玉野市社会教育委員の委嘱について
18	7月10日	たまのっ子育成支援委員会委員の委嘱について
19	7月10日	令和６年度学校運営協議会委員の委嘱について
20	7月24日	令和７年度使用玉野市教科用図書（高等学校）の採択について
21	8月7日	令和７年度使用玉野市教科用図書（中学校）の採択について
22	8月7日	令和７年度使用玉野市教科用図書（小学校）の採択について
23	8月21日	玉野市立体育施設条例等の一部改正について
24	11月20日	令和６年度12月補正予算案（教育委員会関係分）について
25	11月20日	令和６年度学校運営協議会委員の委嘱について
26	1月22日	玉野市スクールバス運行及び利用等に関する要綱の制定について
27	2月5日	令和６年度玉野市立学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について
28	2月18日	令和６年度３月補正予算（教育委員会関係分）について
29	2月18日	令和７年度当初予算（教育委員会関係分）について
30	2月18日	令和７年度学校運営協議会の設置について
31	2月18日	玉野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

32	3月25日	玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会設置要綱の廃止について
33	3月25日	教育長事務委任等に関する規則の制定について
34	3月25日	玉野市教育委員会事務局組織及び事務分掌規則の一部改正について
35	3月25日	玉野市教育委員会事務局処務規程の全部改正について
36	3月25日	玉野市教育委員会非常勤講師等の勤務条件に関する規則の一部改正について
37	3月25日	令和７年度学校運営協議会委員の委嘱等について
38	3月25日	玉野市立幼稚園一時預かり保育事業実施要綱の一部改正について
39	3月25日	玉野市地域学校協働活動推進員の委嘱について
40	3月25日	玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画の策定について

（4）学校等視察

学校等教育施設の教育活動、事業活動、施設の状況等を把握し、その教育施設を取り巻く環境の変化に早急かつ適切に対応し、今後の教育施策に反映させる。。（3/46施設）

月　日	学校名	内　　容
5月22日	荘内小	・ALTの授業の様子 ・特別支援教育推進センター
9月26日	宇野中	・ALTの授業の様子　・不登校対策　・給食
	大崎小	・課題解決型学習　　・地域連携活動 ・サンサン教室（算数学習ボランティア活動）
11月6日	荘内中	・学習用端末　　・AIドリルのドリルの活用状況 ・デジタル採点システム　・通級指導教室

（5）先進地視察

月　日	学校名	内　　容
10月10日	山南学園 (岡山市)	・義務教育学校

（6）その他の活動

月　　日	内　　容	場　　所
7月29日	第1回総合教育会議	玉野市役所
11月 3日	文化・スポーツ顕彰表彰式＊	中央公民館
〃	文化協会表彰式＊	中央公民館
1月12日	二十歳の式＊	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ瀬戸内ﾏﾘﾝﾎﾃﾙ
11月30日	子ども楽級視察（2楽級）	宇野小・玉原小

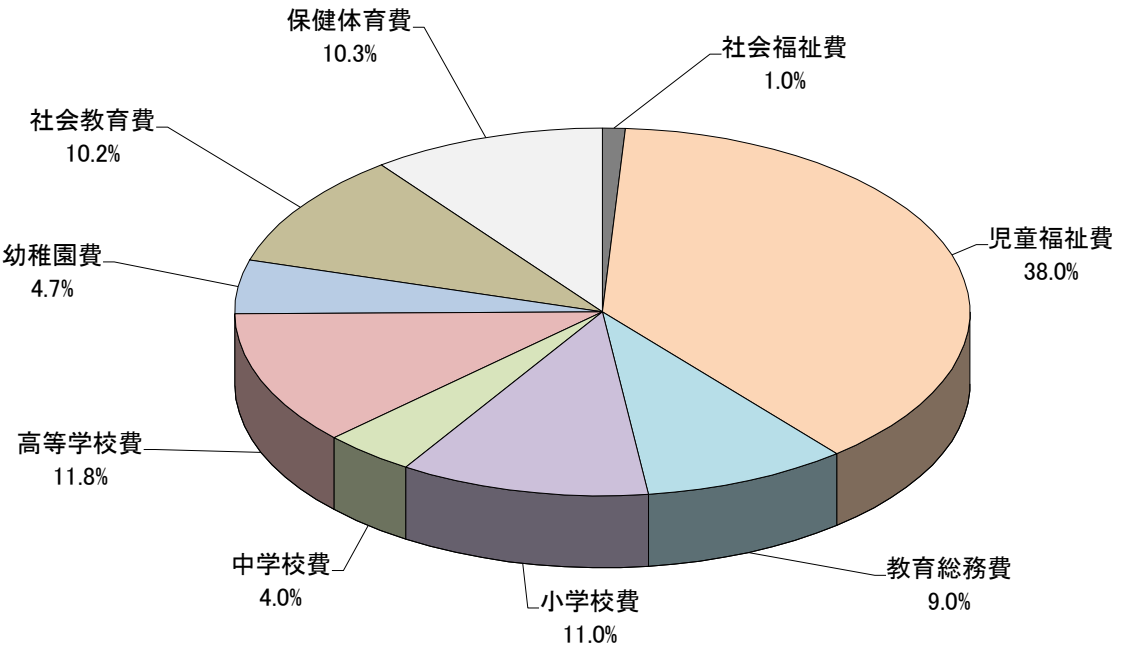
＊教育長のみ出席

令和６年度　教育費・民生費（教育委員会所管分）決算額

（１）令和６年度決算額内訳

項	金額(千円)	前年度比(千円)	伸び率(%)
社会福祉費	41,911	5,458	15.0
児童福祉費	1,592,832	△ 76,706	△ 4.6
教育総務費	377,597	66,132	21.2
小学校費	460,616	93,702	25.5
中学校費	169,714	△ 94,961	△ 35.9
高等学校費	496,170	△ 938	△ 0.2
幼稚園費	197,103	1,113	0.6
社会教育費	427,518	7,169	1.7
保健体育費	430,270	△ 67,448	△ 13.6
計	4,193,731	△ 66,479	△ 1.6

令和６年度決算額構成比

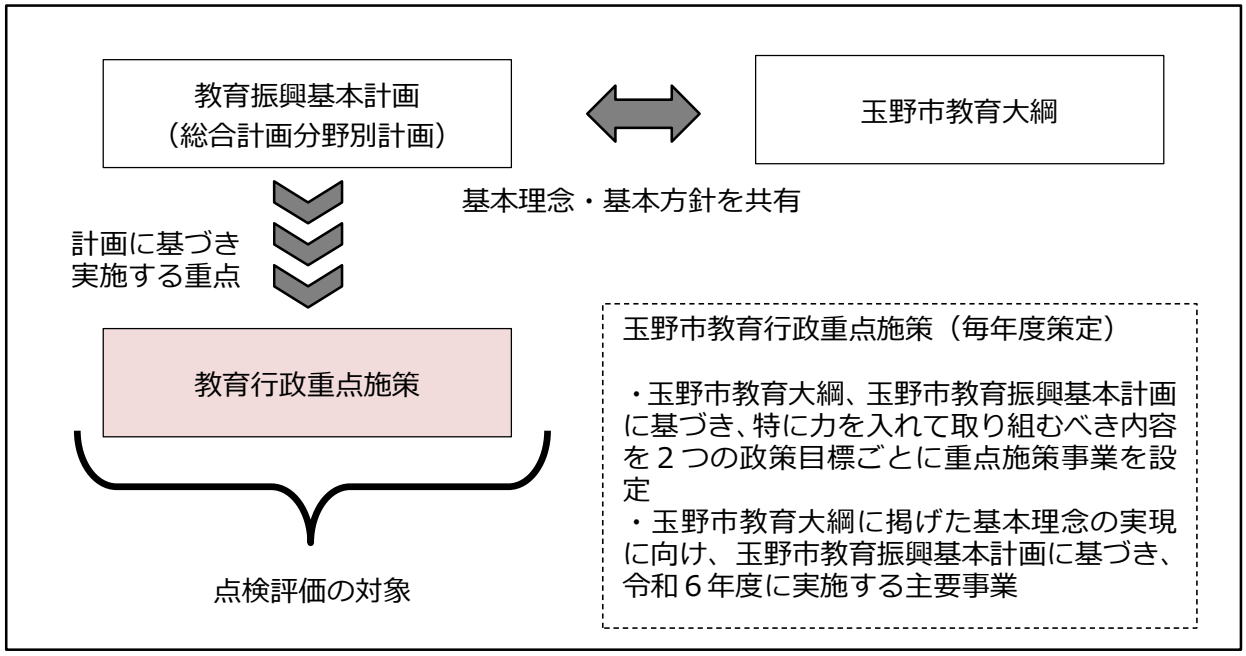


（２）教育費決算額の推移　　（単位：千円）

項	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
社会福祉費	41,715	31,261	33,138	36,453	41,911
児童福祉費	1,533,639	1,614,784	1,653,107	1,669,538	1,592,832
教育総務費	521,349	335,117	353,343	311,465	377,597
小学校費	689,716	327,943	382,362	366,914	460,616
中学校費	265,428	203,811	206,477	264,675	169,714
高等学校費	512,523	515,551	502,699	497,108	496,170
幼稚園費	200,187	201,921	213,774	195,990	197,103
社会教育費	381,453	388,784	393,876	420,349	427,518
保健体育費	284,775	306,638	1,729,335	497,718	430,270
計	4,430,785	3,925,810	5,468,111	4,260,210	4,193,731

令和６年度教育委員会の事務に関する点検評価

（１）施策体系



（２）点検評価の実施方法について

①　評価指標の分析

「令和６年度玉野市教育行政重点施策」において掲げた主要事業の評価指標について、令和６年度の状況が現状値と比較し、分析を行う。

②　評価視点

次の項目の該当度合いに応じて、４段階で評価する。

（該当項目数が少なく、該当度合いが小さいほど高評価となる。）

◆妥当性：市が事業に関与する必要があるか、社会環境や住民ニーズ等を考慮して目的は妥当かなど、事務事業を実施することの妥当性を評価

1　市が事業へ関与する必要性が薄れている。
2　社会情勢の変化など、時の経過とともに事業開始時の目的を見直す必要がある。
3　利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向が見られる。
4　市民ニーズを上回るサービス提供になっているなど、サービスの質や量などを見直す余地がある。
5　厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。

◆有効性：事業の評価指標は達成できそうか、他の事業部等で同じような事務事業は存在しないか、施策目標の達成に貢献しているかなど、事務事業の有効性を評価

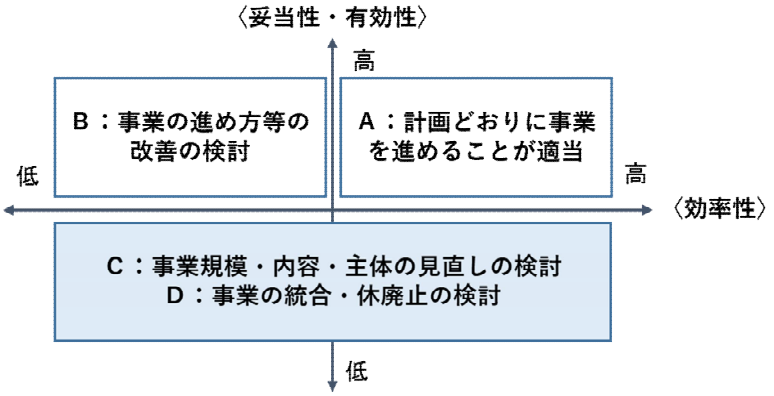
1　事務事業の成果が、施策の目的や目標の達成に貢献していない。
2　国・県・民間が行っている事業と重複している。又は、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある。

3　現状のまま事業を継続しても成果の向上が期待できない。
4　さらに成果を向上させるには、事務事業の内容の工夫が必要である。
5　事務事業の目的・目標を達成しても、成果は十分といえない（成果がはっきりしない）。

◆効率性：実施主体を工夫することでコストを削減できないか、実施手段の適正化等によりコスト削減の余地はないかなど、事務事業の効率性を評価

1　民間などの他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である。
2　単位あたりの費用が前年度より悪化している。
3　デジタル化等の事務改善、契約や人員の見直し等によりコスト削減の余地がある。
4　コスト全体に占める市の負担（補助）割合を下げる余地がある。
5　事業内容を部分的に廃止又は縮小しても成果の達成が可能である。

③　総合評価
翌年度の事務事業の進め方として評価する。



④　成果と課題の検証（取組内容・成果・課題）
事業ごとに成果と現状の課題を検証する。

⑤　今後の方向性
事業ごとの成果と課題の検証を踏まえ、今後の方向性について検討する。

令和６年度　主要事業の点検・評価　事業一覧

施策①　充実した子育て環境の提供

【取組内容１】多様な保育サービスの提供

事　業　名	〈担当所属名〉	評価	ページ
1　子育て支援センター運営事業【重点施策事業】	〈就学前教育課〉	B	13

【取組内容２】質の高い保育サービスの提供

1　教育支援体制整備事業	〈就学前教育課〉	B	14

【取組内容３】家庭・地域の教育力の充実

1　少年団体運営補助事業	〈社会教育課〉	B	15
2　ＰＴＡ連合会運営補助事業	〈社会教育課〉	A	16
3　玉野市少年少女発明クラブ運営補助事業	〈社会教育課〉	B	17
4　二十歳の式事業	〈社会教育課〉	A	18
5　おかやま子ども応援事業	〈社会教育課〉	A	19
6　奨学金貸付事業	〈社会教育課〉	B	20

施策②　教育環境の充実

【取組内容１】教育施設の整備・充実

事　業　名	〈担当所属名〉	評価	ページ
1　小学校大規模改造事業	〈教育総務課〉	A	21

【取組内容２】教育ＩＣＴ環境の充実

1　ＧＩＧＡスクール支援事業	〈教育総務課〉	A	22

【取組内容３】小中学校の適正規模化・適正配置の推進

1　玉野市立学校適正規模化計画策定事業【重点施策事業】	〈学校再編推進課〉	A	23

施策③　学校教育の充実と地域人材の育成

【取組内容１】確かな学力の向上と夢を育むキャリア教育の充実

事　業　名	〈担当所属名〉	評価	ページ
1　グローバル人材育成事業【重点施策事業】	〈学校教育課〉	A	24
2　教職員スキルアップ事業	〈学校教育課〉	A	25
3　たまのの魅力再発見・発信事業	〈学校教育課〉	A	26

【取組内容２】個に応じた個別支援体制の推進

1　支援員配置事業	〈学校教育課〉	A	27
2　小学校長期欠席・不登校対策推進事業	〈学校教育課〉	A	28

3　小１グッドスタート支援事業	〈学校教育課〉	A	29
4　教育サポートセンター管理運営事業	〈教育サポートセンター〉	A	30

【取組内容３】学校と地域の連携・協働による地域人材の育成

1　たまのの魅力再発見・発信事業（再掲）	〈学校教育課〉	A	26
2　機械科教育振興事業	〈玉野商工高等学校〉	A	31
3　学校運営協議会運営事業	〈学校教育課〉	A	32

【取組内容４】青少年健全育成活動の取組の推進

1　青少年育成センター管理運営事業	〈教育サポートセンター〉	A	33

【取組内容５】学校給食の充実と食育の推進

1　給食センター管理運営事業・学校給食会運営補助事業	〈学校教育課〉	A	34

施策④　生涯学習活動の推進

【取組内容１】生涯学習活動の推進

事　業　名	〈担当所属名〉	評価	ページ
1　講座開催事業	〈社会教育課〉	A	35
2　講座事業	〈社会教育課〉	B	36
3　地域人づくり大学事業	〈社会教育課〉	B	37

【取組内容２】生涯学習活動環境の改善

1　生涯学習センター管理運営事業	〈社会教育課〉	A	38
2　社会教育施設管理運営事業	〈社会教育課〉	A	39
3　公民館管理運営事業	〈社会教育課〉	A	40
4　公民館整備事業【重点施策事業】	〈社会教育課〉	A	41
5　図書館管理運営事業	〈社会教育課〉	A	42

【取組内容３】部活動の地域移行

1　部活動地域移行検討事業【重点施策事業】	〈社会教育課〉	A	43

施策⑤　芸術・文化活動の推進

【取組内容１】芸術・文化活動の推進

事　業　名	〈担当所属名〉	評価	ページ
1　文化協会運営補助事業	〈社会教育課〉	A	44
2　市民コンサート事業	〈社会教育課〉	B	45
3　芸術文化振興事業	〈社会教育課〉	B	46

4　文化・スポーツ顕彰事業	〈社会教育課〉	A	47
5　トップアスリート・トップアーティスト招聘事業	〈社会教育課〉	B	48

【取組内容２】文化財の保護・保存

1　文化財保護事業	〈社会教育課〉	B	49
2　町並み保存拠点施設管理事業	〈社会教育課〉	B	50

施策⑥　スポーツ活動の推進

【取組内容１】スポーツ活動の推進

事　業　名	〈担当所属名〉	評価	ページ
1　文化・スポーツ顕彰事業（再掲）	〈社会教育課〉	A	47
2　トップアスリート・トップアーティスト招聘事業（再掲）	〈社会教育課〉	B	48
3　社会体育事業関係事務【重点施策事業】	〈社会教育課〉	A	51
4　玉野市スポーツ協会運営補助事業	〈社会教育課〉	A	52
5　玉野スポーツセンター運営補助事業	〈社会教育課〉	A	53
6　体育施設管理運営事業	〈社会教育課〉	A	54

【取組内容２】スポーツ施設の整備充実

1　体育施設管理運営事業（再掲）	〈社会教育課〉	A	54
2　体育施設整備事業【重点施策事業】	〈社会教育課〉	A	55

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		子育て支援センター運営事業	担当課	就学前教育課
目的	対象	子育て世代の市民		
	意図	子育てに関しての総合的なフォローを行う。	政策体系	1-2
手段		一時保育、子育て相談、園庭開放、イベント開催、子育て情報発信などを行う。	新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	各種イベントの再開並びに内容の見直し	子育て世帯同士の交流促進の拡大	子育て世帯同士の交流促進の拡大	

	R5		R6		R7		R8	
事業費・財源	総事業費　（千円）	869	総事業費　（千円）	454	総事業費　（千円）	987	総事業費　（千円）	
	報償金	20	報償金	30	報償金	30		
	消耗品費	219	消耗品費	249	旅費	50		
	食料費	5	食料費	11	消耗品費	600		
	賠償責任保険料	22	賠償責任保険料	30	食料費	20		
	ネットワーク整備委託料	550	機械器具借上料	44	施設借上料	200		
	機械器具借上料	8	機械器具費①	90	機械器具費借上料	87		
	機械器具費①	47						
	特定　　一般	869	特定　302　一般	152	特定　658　一般	329	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)	園庭開放利用者（子育て支援センター実施分）（組数）					評価指標(単位)	特別イベント及び大規模イベントの開催数（延べ回数）				
年度	現状値（R1）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値（R1）	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	2,150	1,002	1,262			実績値(事後評価)	4	6	5		
目標値		2,000	2,500	2,750	3,000	目標値		4	5	6	7

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	2	やや低い			

取組内容	令和6年度からこどもみらい課と連携しての育児相談・離乳食教室、及びセカンドブック事業を開始した。また、子育て世帯への周知として、イベント等を母子モのアプリ、メールマガジンでの配信、ショッピングセンターメルカの玉野市PRワゴンを活用しての、機関誌やイベントチラシの配布を継続的に行った。また、事業の改善、拡充として、各支援センター独自のイベントの他、合同イベントの実施について計画調整を行い、R7年度からの実施を決定した。一時保育についても、１園のみの利用から３園自由に選択利用可能と変更し、保護者の交流の機会の拡充を図っている。
成果	子育て世帯を支える施策としては非常に有効である。地域子育て支援センター業務の役割は、一層重要視されており、体制を強化し、支援センター同士の連携を今後も継続していること、３園で定期的な会議にて事業分析を行いながらより一層の内容の充実を図るべく務めていること、保護者から「交流の機会が増えた」等の感想も多いことから評価は妥当と考える。
課題	地域子育て支援センターが保育園等を活用して行っている特長を生かし、身近な相談先として子育て世帯と継続的につながるため、現在の手段をより充実させ、新たな手段も探求していく必要がある。私立保育園も含め、事業を安定的かつ継続的に運用できる手法を、既存の補助金を有効活用して再構築すべきである。また、子育て家庭との接点や状況把握するための整備体制をより一層整えていくため、新たに設置されたこども家庭センターと連携を図りながら、さらなる内容の充実に向け、協力した取組が必要である。
今後の方向性	広報紙、市ＨＰ、ＳＮＳ、子育てアプリなど多様な媒体を活用して継続して情報発信を行うとともに、参加者へのWebアンケートを実施することで、より参加しやすい環境整備の方法について分析し、時代に合った手法を再検討した上で、利用者数の増加を図る。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		教育支援体制整備事業	担当課	就学前教育課
目的	対象	市職員（就学前教育職員）		
	意図	若手を中心に、就学前教育職員の質向上を図る。	政策体系	1-2
手段		就学前教育アドバイザー（保育業務に習熟した指導的立場にある職員）による園訪問指導や、園小連携の取組を実施。	新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	就学前教育アドバイザーへの研修等の機会提供	就学前教育アドバイザーへの研修等の機会提供	就学前教育アドバイザーへの研修等の機会提供	
	就学前教育アドバイザーによる全園指導訪問	就学前教育アドバイザーによる全園指導訪問	就学前教育アドバイザーによる全園指導訪問	
	園小連携協議会の実施	園小連携協議会の実施	園小連携協議会の実施	
	園小接続カリキュラムの実践の検証	園小接続カリキュラムの実践の検証	園小接続カリキュラムの実践の検証	
	園保育と小学校授業の参観（双方の職員による）	園保育と小学校授業の参観（双方の職員による）	園保育と小学校授業の参観（双方の職員による）	
	保健師、心理職等の専門職との連携強化	保健師、心理職等の専門職との連携強化	保健師、心理職等の専門職との連携強化	

	R5		R6		R7		R8	
事業費・財源	総事業費　（千円）	3,327	総事業費　（千円）	3,348	総事業費　（千円）	1,258	総事業費　（千円）	
	報償金	35	旅費	963	報償金	20		
	旅費	1,233	消耗品費	2,374	旅費	600		
	消耗品費	1,959	有料道路通行料	11	消耗品費	638		
	印刷製本費	0						
	郵便料	0						
	その他	102						
	特定 3,327 一般	0	特定 1,674 一般	1,674	特定 0 一般	1,258	特定 一般	

○評価指標

評価指標(単位)	園訪問指導の回数（延べ回数）					評価指標(単位)	若手職員への指導回数（延べ回数）				
年度	現状値（R4）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値（R4）	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	50	115	56			実績値(事後評価)	35	31	37		
目標値		50	50	50	50	目標値		35	35	35	35

評価指標(単位)	園小連携協議会の開催（延べ回数）					評価指標(単位)					
年度	現状値（R4）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	2	2	2			実績値(事後評価)					
目標値		3	3	4	4	目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	2	やや低い			

取組内容	・就学前教育アドバイザーが、文部科学省、子ども家庭庁が主催する中央セミナーへ参加し、玉野市の取り組みを全国へ発表するとともに国内の取り組みや動向などの研修に参加した。 ・公私立幼保全17園への園訪問を実施し、就学前教育アドバイザー等による実践保育についての協議会や指導を行った。また、他園の職員も参加しともに学ぶ機会とした。 ・就学前教育職員対象の研修会を幼保職員合同で開催するとともに、全国規模の研究会、他県や他市で実施される公開保育等に参加した。（園小連携も含む） ・小学校１年生担任と園年長担任で相互に訪問を実施し、互いの保育・教育の理解や実際の様子からカリキュラムの打合せ・協議を行った。　また、園小連携協議会では、他市の取り組みや市内で園小が積極的に接続を意識して取り組んでいる事例を共有した。（園小連携の取組） ・他職種の職員（保健師・心理士等）とともにWGチームで移行期支援における共通支援シートの作成やQ-SACCSの作成等を行うとともに、4歳児巡回相談、共通支援シートの研修会などで園と専門職との連携を図っている。
成果	・訪問指導を受けることを通じ、職員が園の保育・教育方針を共有し、同じ方向性で保育をしていく意識が高まった。また、自園の良さを再認識する機会となり、よりよく保育をしていく意識を持って保育に向かう姿勢が高まっている。 ・他園の園訪問に参加し学ぶ意識が職員に広がり、園種の違う園にも訪問し互いに刺激を受けたり、取り入れたりし、市内全体の保育のレベルアップが図られている。 ・各種研修会や多様な研究会、公開保育等の参加を通じて、スキルアップと意識啓発が促進できた。 ・園小連携では、担任同士が参観、協議する意識がそれぞれの校園で高まり、園小接続が促進されている。また、研修会を通じて他校園の取り組みを知ることで園小接続を意識した交流を行い、相互理解の進展とカリキュラム作成を見通した具体的な調整ができている。
課題	各種取組を園種を区別せずともに学び合える機会とし、より成果を得られるよう事業を展開しているが、文部科学省の交付金の事業内容が保育の質向上から園小接続への変更が示されているため、交付金の申請・協議において取り組み内容の大幅な変更が必要となり、引き続き本市の事業が採択されるとは限らない状況にある。今後も交付金を活用するためには、園小接続を軸にした独自性の高い取組を始めるなどのアピールが必要となるが、そのためのマンパワーが不足している。
今後の方向性	事業開始から６年目に入り、職員の質向上を中心とした成果を挙げている一方、計画目標の達成に向けた取組を進めるにあたって、担当職員の業務負担が過多となりがちであり、本来目指すべき成果が得られないケースが生じている。また、この点を踏まえ、当面は現状維持を前提としつつも、業務負担の改善を図る必要性が認められることから、今後の人員体制や交付金の事業内容、園の実態から必要な内容等によっては、事業内容の変更や縮小化も念頭に置いた上で、より効果的・効率的な進め方を検討する必要がある。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	少年団体運営補助事業		担当課	社会教育課
目的	対象	子ども会・ボーイスカウトに関わる市民		
	意図	市内少年団体の育成と指導の中心的役割を果たし、子ども会・ボーイスカウトの自主的な活動を振興する。	政策体系	１－２
手段	子ども会、夏休み体験学習・リーダー研修会・県内他市子ども会との交流等のため補助金を交付する		新規／継続	継続

年度別事業内容	R5	R6	R7	R8
	補助金の交付	補助金の交付	補助金の交付	
	子ども会運営補助			

事業費・財源	R5		R6		R7		R8	
	総事業費　（千円）	84	総事業費　（千円）	51	総事業費　（千円）	51	総事業費　（千円）	
	補助金	84	補助金	51	補助金	51		
	特定　0　一般	84	特定　　一般	51	特定　　一般	51	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)	子ども会研修会開催回数					評価指標(単位)	会員数（幼～高※育成者を除く）				
年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	0	1	1			実績値(事後評価)	16	13	12		
目標値		1	1	1		目標値		13	13	13	

評価指標(単位)	単位子ども会数					評価指標(単位)					
年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	1	1	1			実績値(事後評価)					
目標値		1	1	1		目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	3	やや高い		B	事業の進め方の改善を検討
有効性	2	やや低い			
効率性	2	やや低い			

取組内容	【子ども会】2月11日に体験教室を開催した。また、会長と事務局とで、今後の子ども会のあり方について複数回協議を実施した。 【ボーイスカウト】年間を通じて募金や地域清掃などの社会奉仕活動を実施した。
成果	【子ども会】体験教室には会員18名（内訳：子ども12名、育成者6名）の参加があった。
課題	【子ども会】単位子ども会が１団体となって5年が経つが、会員数は年々減少し、新たな加入団体も見込めないため、 子ども会連絡協議会の存続について検討する必要がある。
今後の方向性	子ども会連絡協議会及び団体への補助金について、加入している単位子ども会数に見合う金額としたい。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	PTA連合会運営補助事業		担当課	社会教育課
目的	対象	ＰＴＡ		
	意図	PTA活動の支援	政策体系	１－２
手段	ＰＴＡ連合会の事務局となり、補助金の支給や活動支援を行う。		新規／継続	継続

年度別事業内容	R5	R6	R7	R8
	各種イベントの実施	各種イベントの実施	各種イベントの実施	
	情報交換の場の提供	情報交換の場の提供	情報交換の場の提供	
	学習機会の提供	学習機会の提供	学習機会の提供	
	各単位ＰＴＡの活動支援	各単位ＰＴＡの活動支援	各単位ＰＴＡの活動支援	

事業費・財源	R5		R6		R7		R8	
	総事業費　（千円）	115	総事業費　（千円）	115	総事業費　（千円）	115	総事業費　（千円）	
	補助金	115	補助金	115	補助金	115		
	特定	一般 115	特定	一般 115	特定	一般 115	特定	一般

○評価指標

評価指標(単位)	情報交換の場の提供回数					評価指標(単位)	各種イベントの実施回数				
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	4	4	4			実績値(事後評価)	2	2	2		
目標値		4	4	4	4	目標値		2	2	2	2

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	4	高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	4	高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	情報交換の場の提供として、補導部会研修会（6/28）、会長会議（7/12、11/29、2/28）を開催した。また、体育事業・文化事業を1/26に開催した。
成果	会長会議では、各単位ＰＴＡにおける課題について、複数の単位ＰＴＡ同士で協議することができた。体育事業では、約60名の小学生が「かけっこ教室」に参加した。文化事業では、メルカセントラルコートにて玉野ウインドにオーケストラによるコンサートを実施し、約300人集客した。
課題	いくつかの単位ＰＴＡにおいて、全会員（児童数＝会員数）ではなくなってきている。今後、適正規模・適正配置計画に基づいた学校再編により、各単位ＰＴＡの枠組も変わることが想定され、玉野市ＰＴＡ連合会の在り方を見直していく時期であると考える。こうした状況を踏まえ、補助金額についても再考する必要がある。
今後の方向性	総会員数および活動数の減少に伴い、状況に合った補助額の見直しを検討する。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	玉野市少年少女発明クラブ運営補助事業		担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	少年少女に科学的な興味と関心を追求できる場所を提供し、創作活動を通じて発想力のある児童を育成する。	政策体系	１－２
手段	少年少女に科学的な興味と関心を追求できる機会を提供する団体に対し、補助金を交付する。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	補助金の交付	補助金の交付	補助金の交付	
	少年少女発明クラブ運営	少年少女発明クラブ運営	少年少女発明クラブ運営	

事業費・財源	総事業費　（千円）	250		総事業費　（千円）	250		総事業費　（千円）	250		総事業費　（千円）		
	補助金	250		補助金	250			250				
	特定		一般	250	特定		一般	250	特定		一般	250	特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)	教室の開催回数					評価指標(単位)	登録者数				
年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	20	35	26			実績値(事後評価)	24	35	31		
目標値		35	35	35	35	目標値		35	35	35	35

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討
妥当性	2	やや低い			
有効性	3	やや高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	親子工作教室、木工工作、電気工作、金工工作、もの作り講座、自由工作の活動内容でクラブを実施した。
成果	予定どおりの回数での活動を通じて、児童の育成に貢献した。
課題	活動場所に冷房設備がなく、参加者が熱中症等の体調不良を起こす恐れがある。
今後の方向性	活動場所に冷房設備を設置する等、参加者が快適に活動できる環境を整える。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	二十歳の式事業		担当課	社会教育課
目的	対象	当該年度に二十歳となる人		
	意図	二十歳を迎えた人を祝い、社会人としての自覚を促す。	政策体系	１－２
手段	毎年、成人の日前日の日曜日に実行委員会が中心となって式典を行う。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	二十歳の式の実施	二十歳の式の実施	二十歳の式の実施	

	R5		R6		R7		R8	
事業費・財源	総事業費　（千円）	1,572	総事業費　（千円）	1,752	総事業費　（千円）	2,173	総事業費　（千円）	
	報償金	20	報償金	20	報償金	23		
	賞賜金	305	賞賜金	442	賞賜金	510		
	消耗品費	43	消耗品費	36	消耗品費	80		
	食糧費	5	委託料	574	食糧費	10		
	委託料	520	借上料	682	委託料	700		
	借上料	682			借上料	850		
	特定　0　一般	1,572	特定　0　一般	1,752	特定　　一般	2,173	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	二十歳の式実行委員会（年6回）と二十歳の式（本番）を開催した。
成果	対象者のうち、66.6%の参加があった。式の内容や来賓、席の配置などをコロナ禍以前の形に戻すことができた。
課題	民間施設（ホテル）を利用した会場のあり方について、検討が必要。
今後の方向性	現在実施中の事業を継続するとともに、会場のあり方についても引き続き検討していく。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	おかやま子ども応援事業		担当課	社会教育課
目的	対象	地域住民・子ども（学校）		
	意図	「学校を核とした地域づくり」「地域ともにある学校づくり」を実現する	政策体系	１－２
手段	学校と地域住民が目標やビジョンを共有し、一体となってコミュニティスクールや地域学校協働活動を推進する。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	地域学校協働本部運営	地域学校協働本部運営	地域学校協働本部運営	
	子ども楽級開催	子ども楽級開催	子ども楽級開催	
	家庭教育講座開催	家庭教育講座開催	家庭教育講座開催	

事業費・財源	総事業費　（千円）	7,992		総事業費　（千円）	7,715		総事業費　（千円）	7,293		総事業費　（千円）		
	報償金	5,799		報償金	5,882		報償金	5,980				
	消耗品費	1,976		消耗品費	1,585		消耗品費	1,000				
	食糧費	37		食糧費	38		食糧費	63				
	郵便料	37		郵便料	44		郵便料	44				
	保険料	89		保険料	149		保険料	163				
	その他	54		その他	20		その他	43				
	特定	5,280	一般 2,712	特定	5,070	一般 2,645	特定	4,770	一般 2,523	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)	子ども楽級登録者数					評価指標(単位)	家庭教育講座実施数				
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	365	451	433			実績値(事後評価)	1	31	32		
目標値		550	550	550	550	目標値		10	10	11	11

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	子ども楽級では、13楽級で、計1028回（図書開放を含む）開催。おさらい会では、12小学校で、計138回開催。地域学校協働本部事業では、延べ23,014人の地域住民が参画。家庭教育支援事業では、計32回の子育て・親育ち講座を開催。
成果	子ども楽級、おさらい会、協働本部については、コーディネーター、代表アドバイザー、推進員を中心に各活動を進めていくことができた。また、家庭教育については、玉野市家庭教育支援チームを立ち上げ、親育ち応援学習プログラムの計画的実施を行うことができるようになってきた。
課題	現在、子ども楽級は、公民館の主催事業として開催しており、地域学校協働本部事業は、各校園に協働本部を配置している。そのため、玉野市学校適正規模・適正配置計画を受けて、本事業の実施体制を再構築していく必要がある。
今後の方向性	国の方針として、地域学校協働活動推進員を複数人体制にすること、学校へ常駐化することが示されている。それを実現するためには、本事業の予算は、最低でも現状維持が必要条件である。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	奨学金貸付事業			担当課	社会教育課
目的	対象	市民			
	意図	将来社会に貢献しうる有為な人材を育成する.		政策体系	１－２
手段	学校教育法に基づく高等学校、高等専門学校、大学、市内の専修学校、に在学する者に奨学金を貸し付ける。			新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	奨学金貸付	奨学金貸付	奨学金貸付	

事業費・財源	総事業費　（千円）	9,360	総事業費　（千円）	5,880	総事業費　（千円）	8,520	総事業費　（千円）	
	奨学金貸付	9,360	奨学金貸付	5,880	奨学金貸付	8,520		
	特定	9,360 一般	0	特定	5,880 一般	0	特定	8,520 一般	0	特定	一般	

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値（R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値（R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討
妥当性	4	高い			
有効性	2	やや低い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	申請者が事前に選考基準に当てはまるか自己診断できるように選考基準確認シートを作成した。制度の周知のため、市内中学校３年生、高等学校３年生に事前案内をした。滞納者には督促文書、電話催告などにより納付を呼びかけた。
成果	選考基準に達しているか申請者自身が確認できるようになったことにより、家計基準についての問合せが減少した。卒業前に、全ての対象者に制度の周知を図ることができた。滞納者と今後の納付相談、支払計画を立てることができた。
課題	滞納者への対応を統一するため、玉野市債権管理条例を基にした奨学金貸付事業としての対応マニュアル・方針を策定する必要がある。
今後の方向性	督促後、相当の期間を経過してもなお履行されない滞納者に対し、策定したマニュアル・方針に則り、対応する。 給付制度や一定の要件のもと減免可能な制度の検討。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	小学校大規模改造事業		担当課	教育総務課
目的	対象	児童・生徒		
	意図	快適な学習環境の構築	政策体系	2-4
手段	学校施設に対して地域の状況や将来像を勘案した計画的な改修及び整備		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	改修及び整備の実施	改修及び整備の実施	―	
	改修及び整備計画の立案	改修及び整備計画の立案		

事業費・財源	総事業費　（千円）	69,749		総事業費　（千円）	66,035		総事業費　（千円）	―		総事業費　（千円）		
	小学校大規模改造工事請負費	67,329		小学校大規模改造工事請負費	61,888							
	実施設計委託料	2,420		実施設計委託料	4,147							
	特定	53,283	一般	16,465	特定	48,644	一般	17,391	特定		一般		特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)	施設改修・整備を実施した小学校数（校）					評価指標(単位)					
年度	現状値(R4)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	2	5	4			実績値(事後評価)					
目標値		3	3	2	2	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	3	やや高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	4	高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	大崎小屋上防水工事、第二日比小空調改修、田井小教室改修・空調整備、宇野小空調整備を実施。
成果	計画どおり実施完了。
課題	学校再編の計画を考慮し、改修及び整備計画の見直しが求められる。
今後の方向性	学校再編の動きに沿って、老朽化した学校施設の改修や熱中症対策のための空調設備の整備など、計画的に実施する。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	GIGAスクール支援事業		担当課	教育総務課
目的	対象	小中学校（児童・生徒、教職員）		
	意図	教育ICT環境の充実を図り、個別最適化された学びや創造性を育む学びを推進する。	政策体系	2-4
手段	ICT機器の活用を進めるための支援の実施		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	ICT支援員の配置	ICT支援員の配置	ICT支援員の配置	
	GIGAスクールヘルプデスクの設置	GIGAスクールヘルプデスクの設置	GIGAスクールヘルプデスクの設置	
	情報教育担当者会の開催	情報教育担当者会の開催	情報教育担当者会の開催	
			学習用端末の更新	

事業費・財源	総事業費　（千円）	5,782		総事業費　（千円）	5,280		総事業費　（千円）	285,652		総事業費　（千円）		
	ICT支援員委託料	4,515		ICT支援員委託料	924		ICT支援員委託料	1,188				
	GIGAスクールヘルプデスクの設置委託料	1,268		GIGAスクールヘルプデスク設置委託料	4,356		GIGAスクールヘルプデスク設置委託料	4,224				
							教材費	280,240				
	特定	633	一般 5,149	特定	1,452	一般 3,828	特定	142,890	一般 142,762	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)	ICT支援員配置回数					評価指標(単位)	情報教育担当者会の開催回数				
年度	現状値(R4)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R4)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	252	252	47			実績値(事後評価)	2	2	1		
目標値		252	252	252	252	目標値		3	3	3	3

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	4	高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	3	やや高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	ICT支援員について、令和5年度まで、各校月1回3時間訪問としていたところ、必要なときに支援できる体制とするため、令和6年度から、週1回教育委員会に配置し各校の要望により訪問する方式に変更した。このため評価指標「ICT支援員配置回数」は令和5年度に比較し減少となっている。またアカウント年度更新作業や学習用端末破損・故障に伴い更新した端末のエンロールメント作業、ICT支援員及び教育委員会事務局の支援、学校からの電話やメール等で常時サポート等について、GIGAスクールヘルプデスクに委託した。情報教育担当者会については、目標3回開催のところ1回となっているが、校長会や他の研修にGIGA関連を組み込み実施した。
成果	GIGAスクールヘルプデスクへの問合せ体制の構築やICT支援員の訪問方法を変更したことにより、学校のニーズに合わせ支援することができ、学校の学習用端末の活用の推進に寄与した。また、支援員の配置により、本来なら教育委員会事務局や学校において実施する作業の負担軽減が図られた。
課題	ICT支援員の予約状況を見ると、ほぼ毎週全時間埋まっている。年度始め等、要望が重複し予約がとれない時期もある。
今後の方向性	ICT支援員の訪問数を増やしたい。 学習用端末の利活用が進むにつれ、故障端末の増加やバッテリーの劣化等の不具合が生じていることから、令和7年度に更新する。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	玉野市立学校適正規模化計画策定事業		担当課	学校再編推進課
目的	対象	小中学校		
	意図	玉野市立学校適正規模・適正配置計画の策定	政策体系	2-4
手段	玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会を設置し、小中学校の適正規模・適正配置について諮問・答申 地域説明会の開催、アンケートの実施		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	適正規模・適正配置検討委員会会議の開催	適正規模・適正配置計画の策定	ー	
	適正規模・適正配置検討委員会答申	適正規模・適正配置計画公表		

事業費・財源	総事業費　（千円）	452	総事業費　（千円）	0	総事業費　（千円）	0	総事業費　（千円）	
	報償金	394	ー		ー			
	旅費	37						
	食糧費	8						
	会場借上料	14						
	特定　0　一般	452	特定　0　一般	0	特定　0　一般	0	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)	検討委員会会議の開催回数					評価指標(単位)	地域説明会参加者数				
年度	現状値(R4)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R4)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	3.0	5.0				実績値(事後評価)	156.0	ー	310.0		
目標値		5.0	－	－	－	目標値		ー	ー	ー	ー

評価指標(単位)	アンケート回答数					評価指標(単位)					
年度	現状値(R4)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	1,991.0	ー	1,422.0			実績値(事後評価)					
目標値		ー	ー	ー	ー	目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	3	やや高い			
効率性	4	高い			

取組内容	・計画（素案）を作成し保護者や地域の方の意見を聴取するための地域説明会を開催した。（計８回） ・地域説明会等の意見を踏まえ、計画（修正案）を作成し再度説明会を開催した。（計２回） ・HP等からの問合せへのメール対応（延べ69件）、Q＆Aを作成し保護者へ配布、児童生徒アンケートの実施した。 ・パブリックコメントを実施した。（52名・148件） ・パブリックコメント等の意見を踏まえ、計画（最終案）を教育委員会で審議し可決した。
成果	適正規模・適正配置計画を策定した。
課題	適正規模・適正配置計画の内容に対し、一部地域の保護者や地域等から計画に反対する趣旨の意見・要望が寄せられているため、その地域については、再編への理解が図られず、計画どおりに進まない可能性がある。そのため、小中学校の適正規模化が遅れ、子どもたちの教育環境の充実を図ることができない可能性がある。
今後の方向性	適正規模・適正配置計画に基づき、再編の時期が早い小中学校から説明会等を開催させていただき、保護者や地域の理解を得ながら、順次学校再編を進める。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	グローバル人材育成事業		担当課	学校教育課
目的	対象	玉野市内小中学校・高校　児童生徒		
	意図	英語コミュニケーション能力の向上を図る。	政策体系	2 － 5
手段	外国人英語助手（ALT）との教育活動を通して、教育活動の充実を図る。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	ALT 配置による英語教育の充実	ALT 配置による英語教育の充実	ALT 配置による英語教育の充実	
	効果的なALT 配置についての検討	効果的なALT 配置についての検討	効果的なALT 配置についての検討	

事業費・財源	総事業費　（千円）	24,961		総事業費　（千円）	24,961		総事業費　（千円）	24,962		総事業費　（千円）		
	ALT派遣業務委託料	24,961		ALT派遣業務委託料	24,961		ALT派遣業務委託料)(小)	17,223				
							ALT派遣業務委託料)(中)	5,991				
							ALT派遣業務委託料)(高)	1,748				
	特定	0	一般 24,691	特定		一般 24,691	特定		一般 24,962	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)	1 人の児童生徒が 1 年間にALTよる授業を受ける回数。（小学校 3 年生以上）					評価指標(単位)					
年度	現状値(R1)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	7	35	35			実績値(事後評価)					
目標値		35	35	35	35	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	4	高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	ALTを市内全学校校に配置し、各校の英語活動に充実に努めた。また、更なる有効活用のため、夏季休業中には小教研外国語部会と連携し、ＡＬＴによる教職員向けの英語研修会を実施した。また、夏期休業中にはALTによる市内の子供たち向けの英語イベントの開催やホームステイ事業の研修講師として招聘を行った。
成果	各校で英語の授業の充実が図られ、ALTの配置に関する調査において、学校から肯定的な回答が得られている。
課題	岡山県学力学習状況調査における英語科の得点が平均値を下回るなど、児童生徒の英語力の向上は今後も必要である。
今後の方向性	ALT配置は県内のすべての自治体で配置されており、本市においても児童生徒の英語への興味関心を高める有効な事業となっているため、事業を継続し英語の授業の充実と、児童生徒の英語コミュニケーション力向上に取り組む。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	教職員スキルアップ事業		担当課	学校教育課
目的	対象	玉野市内小中学校教職員		
	意図	教職員の指導力及び専門性を高める。	政策体系	２－５
手段	外部講師を招へいした各種研修会・授業研修会等を開催		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	各校や教職員の課題に応じた研修会の実施	各校や教職員の課題に応じた研修会の実施	各校や教職員の課題に応じた研修会の実施	
	研修会実施による成果の確認	研修会実施による成果の確認	研修会実施による成果の確認	

事業費・財源	総事業費　（千円）	60	総事業費　（千円）	50	総事業費　（千円）	215	総事業費　（千円）	
	報償金	34	報償金	46	報償金	115		
	旅費	26	旅費	4	旅費	100		
	特定　　一般	60	特定　　一般	215	特定　　一般		特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)	外部講師を活用した研修会の実施回数					評価指標(単位)					
年度	現状値(R4)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	8	4	5			実績値(事後評価)					
目標値		10	12	14	15	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	4	高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	各校における校内研修を充実するための体制づくりを行うとともに、中学校区や広域学校間連携の研修を推進した。
成果	各校において、校内研修の充実が図られており、全国学力学習状況調査における授業改善に関する肯定的な回答項目が多くなっている。
課題	各校からのニーズに応じた研修講師の確保ができない場合がある。
今後の方向性	県教委の事業等を活用していることもあり、研修講師派遣自体の回数は少なくなっているが、今後も教員の資質向上のための取組は重要となってくる。学校からの多様な研修講師のニーズに対応するため事業を継続する。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		たまのの魅力再発見・発信事業	担当課	学校教育課
目的	対象	玉野市内小中学校　児童生徒		
	意図	キャリア教育の充実を図り、地域の活性化に寄与する人材を目指す。	政策体系	２－５
手段		児童生徒に様々な体験活動や地域の資源を活用した教育活動を実施し、学びから得た地域の魅力や課題解決方法を発信する。	新規	新規

年度別事業内容	R5	R6	R7	R8
	人材バンクの作成	人材バンクの有効活用	人材バンクの有効活用	
	自校の課題等に応じたキャリア活動の実施	自校の課題等に応じたキャリア活動の実施	自校の課題等に応じたキャリア活動の実施	
	地域の魅力や課題解決方法を発信	地域の魅力や課題解決方法を発信	地域の魅力や課題解決方法を発信	

事業費・財源	R5	R6	R7	R8
	総事業費　（千円）　1,029	総事業費　（千円）　993	総事業費　（千円）　1,801	総事業費　（千円）
	報償金　21	報償金　32	報償金　81	
	旅費　39	旅費　35	旅費　70	
	消耗品費　784	消耗品費　816	消耗品費　1,280	
	印刷製本費　99	印刷製本費　50	印刷製本費　150	
	運搬料　62	運搬料　36	運搬料　150	
	賠償責任保険料　26	賠償責任保険料　25	賠償責任保険料　70	
	特定　385　一般　644	特定　394　一般　599	特定　600　一般　1,201	特定　一般

○評価指標

評価指標(単位)	事業実施学校数					評価指標(単位)	地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある小中学生(%)				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値（R4）	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	―	21	21			実績値(事後評価)	47.8	68.9	―	―	―
目標値		21	21	20	20	目標値		57.0	60.0	61.0	62.0

評価指標(単位)	地域社会をよくするために何かしてみたいと思う(小学生)の割合					評価指標(単位)	地域社会をよくするために何かしてみたいと思う(中学生)の割合				
年度	現状値(R6)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R6)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	83.3	―	―			実績値(事後評価)	80.7	―	―		
目標値		―	―	85.0	87.0	目標値		―	―	85.0	87.0

※全国学力状況調査の質問項目を指標としていたが、R6度から項目が変更となったことから、指標、目標値を変更した。

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	3	やや高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	3	やや高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	各校の取組を基に、本市の魅力について発信する事業と、学校の教育活動へ協力いただける人や企業の人材バンクへの登録・充実を中心に取り組んだ。
成果	人材バンクへの登録企業が１５団体となり、学校教育活動へ協力いただける外部人材が充実してきている。また、地域への発信の活動も半数程度の学校で行われており、充実が図られつつある。５月の連休に市立公民館で市内の学校の成果を一堂に集めた「たまののいいところ展」を開催した。
課題	すべての学校が参加したが、より効果的な情報発信となるように、教育計画の工夫も必要である。
今後の方向性	今年度様々な取組が行われ､学校間でも実践事例の共有が行われ、本市の重点であるキャリア教育の充実に欠かすことのできない事業と考える。国の交付金（地方創生推進交付金）の終了後も、同事業費を継続していく。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	支援員配置事業		担当課	学校教育課
目的	対象	玉野市内小中学校　児童生徒		
	意図	＜スクールカウンセラー＞ 児童生徒や保護者の多様な相談支援に取り組み、不登校やいじめ、学校不適応等のあらゆる問題について早期発見するとともに、継続してより一層きめ細やかな支援を行う。 ＜学校サポートスタッフ（支援員）＞ 様々な課題を抱える児童生徒への教員による指導支援をサポートしたり、教職員業務をサポートすることで、教員の子どもと向き合う時間を確保し、適切な指導支援を行えるようにする。 ＜学校サポートスタッフ（部活動指導員）＞ 中学校における部活動指導体制の充実を促進し、部活動を担当する教員の支援を行うとともに部活動の質的な向上を図る。	政策体系	2－5
手段	スクールカウンセラー、学校サポートスタッフ（支援員）及び（部活動指導員）を配置する。		新規／継続	継続

年度別事業内容	R5	R6	R7	R8
	スクールカウンセラー配置	スクールカウンセラー配置	(SC)スクールカウンセラー配置	
	学校サポートスタッフ（支援員）配置	学校サポートスタッフ（支援員）配置	(GS)学校サポートスタッフ（支援員）配置	
	学校サポートスタッフ（部活動指導員）配置	学校サポートスタッフ（部活動指導員）配置	(B)学校サポートスタッフ（部活動指導員）配置	

事業費・財源	R5		R6		R7		R8	
	総事業費　（千円）	29,738	総事業費　（千円）	30,539	総事業費　（千円）	41,424	総事業費　（千円）	
	会計年度任用職員報酬	28,464	会計年度任用職員報酬	29,166	(SC)会計年度任用職員報	2,092		
	社会保険料	86	社会保険料	670	(SC)社会保険料	10		
	費用弁償	1,189	費用弁償	1,303	(SC)費用弁償	125		
					(GS)会計年度任用職員報	34,560		
					(GS)社会保険料	162		
					(GS)費用弁償	2,143		
					(B)会計年度任用職員報酬	2,016		
					(B)社会保険料	10		
					(B)費用弁償	297		
	特定 842 一般	28,896	特定 760 一般	29,779	特定 1,469 一般	39,955	特定 一般	

○評価指標

評価指標(単位)	スクールカウンセラー配置人数					評価指標(単位)	学校サポートスタッフ（支援員）配置				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)		3	3			実績値(事後評価)		33	33		
目標値		3	3			目標値		33	33		

評価指標(単位)	学校サポートスタッフ（部活動指導員）配置					評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)		5	6			実績値(事後評価)					
目標値		5	6			目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	4	高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	各校にスクールカウンセラーや各種サポートスタッフを配置し、児童生徒１人１人のニーズに応じた教育活動を進めた。
成果	スクールカウンセラーや各種サポートスタッフの配置により、児童生徒の多様なニーズに対応することができた。また、特別支援教育や部活動など、様々な教育活動の充実につなげることができた。
課題	学校サポートスタッフについては、特別支援教育の充実の観点からは、児童生徒の自立に向けて、必要な支援のあり方を検討し、効果的な支援につなげる必要がある。また、支援人材の確保も課題である。
今後の方向性	学校からのニーズが非常に高いため、学校の要望や現状をきめ細かく把握し、必要な支援人材の配置を行っていく。事業拡大も含め事業の充実を図る。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	小学校長期欠席・不登校対策推進事業		担当課	学校教育課
目的	対象	玉野市内小学校　児童		
	意図	不登校に対する小学校の組織的な対応力の向上を図るために、不登校傾向にある児童やその家庭に対して、登校支援や別室での支援及び相談支援を行う支援員を配置することで、配置校の不登校傾向児童の課題解決のための校内支援体制を構築し、保護者支援の取組の充実モデルを市内に広める。	政策体系	２－５
手段	支援員を配置し、不登校傾向児童の課題解決のための校内支援体制を構築する。		新規／継続	継続

年度別事業内容	R5	R6	R7	R8
	登校支援員を配置する。	登校支援員を配置する。	登校支援員を配置する。	
	別室支援員を配置する。	別室支援員を配置する。	別室支援員を配置する。	

事業費・財源	R5	R6	R7	R8
	総事業費　（千円）　5,237	総事業費　（千円）　5,182	総事業費　（千円）　7,574	総事業費　（千円）
	会計年度任用職員報酬　5,040	会計年度任用職員報酬　5,040	会計年度任用職員報酬　7,140	
	社会保険料　15	社会保険料　12	社会保険料　34	
	費用弁償　182	費用弁償　130	費用弁償　400	
	特定　5,237　一般　0	特定　5,182　一般　0	特定　7,574　一般	特定　一般

○評価指標

評価指標(単位)	登校支援員・別室支援員配置人数					評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	8.0	8	8.0			実績値(事後評価)					
目標値		8	8			目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
効率性	4	高い			

取組内容	市内の小学校に、登校支援員を5人、別室支援員を３人配置した。
成果	配置校において、登校しにくい児童へチーム学校として対応する仕組みが整い、長期欠席・不登校者への対応が担任だけではなく、組織対応が可能となった。新たな長期欠席・不登校者を生まないよう、別室利用ができている学校もある。
課題	長期欠席・不登校の児童数が減少した訳ではなく、全国的な傾向と同じく玉野市も増え続けており、配置校においても例外なく増えている。新たな長期欠席・不登校者を生まない取組をさらに増やしていくと同時に、配置校における取り組みを全市的に広げていくことが課題である。
今後の方向性	長期欠席・不登校対策の一つとして欠かすことができない事業であるため、次年度も事業を継続する。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		小１グッドスタート支援事業	担当課	学校教育課
目的	対象	玉野市内小学校　1年生児童		
	意図	小学校第1学年の児童の基本的な生活習慣の確立や基礎学力の向上等を図り、義務教育の円滑なスタートをきることができるよう、学級担任等の補助を行う支援員を配置する。	政策体系	２－５
手段		支援員を配置し、学級担任等の補助を行う。	新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	小１グッド支援員を配置する	小１グッド支援員を配置する	小１グッド支援員を配置する	

	R5		R6		R7		R8	
事業費・財源	総事業費　（千円）	2,376	総事業費　（千円）	1,794	総事業費　（千円）	4,190	総事業費　（千円）	
	会計年度任用職員報酬	2,180	会計年度任用職員報酬	1,635	会計年度任用職員報酬	3,600		
	期末手当	113	期末手当	86	期末手当	355		
	社会保険料	7	社会保険料	5	社会保険料	19		
	費用弁償	77	費用弁償	69	費用弁償	216		
	特定　2,367　一般	9	特定　1,985　一般	110	特定　4,172　一般	18	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)	配置人数					評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)		4	3			実績値(事後評価)					
目標値		4	3			目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	県の基準に従い、小１グッド支援員を荘内小学校に３名配置した。
成果	小１グッド支援員を配置し、小学校１年生における教育活動の充実を図ることができた。また、１年生の教職員のサポート体制の充実につなげることができた。
課題	配置期間が４月から１０月となっており、年度途中で任用が切れるため、人材確保が非常に難しい。
今後の方向性	県の補助事業で、配置基準があるが、今後も配置基準を満たしている学校があれば事業を実施し、支援の充実を図る。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		教育サポートセンター管理運営事業	担当課	教育サポートセンター
目的	対象	玉野市内在住の39歳までの子ども・若者とその保護者・関係者		
	意図	子どもたちが個々の力を大切にしながら、健やかに成長する。	政策体系	2-5
手段		関係機関と連携しながら、子ども一人ひとりの育ちに応じた支援を継続的に行う。	新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	電話・来所・訪問による教育相談の充実	電話・来所・訪問による教育相談の充実	電話・来所・訪問による教育相談の充実	
	体験活動・ワークショップの実施	体験活動・ワークショップの実施	体験活動・ワークショップの実施	
	不登校児童生徒への教科講師による学習支援	不登校児童生徒への教科講師による学習支援	不登校児童生徒への教科講師による学習支援	
	不登校・ひきこもりの子を持つ保護者支援	不登校・ひきこもりの子を持つ保護者支援	不登校・ひきこもりの子を持つ保護者支援	
	市内全園への保育カウンセラーの派遣	市内全園への保育カウンセラーの派遣	市内全園への保育カウンセラーの派遣	

	R5		R6		R7		R8	
事業費・財源	総事業費　（千円）	2,641	総事業費　（千円）	21,535	総事業費　（千円）	27,750	総事業費　（千円）	
	報償金	138	会計年度任用職員報酬他	18,933	会計年度任用職員報酬他	24,619		
	旅費	172	報奨金	155	報奨金	161		
	費用弁償	163	消耗品費	288	消耗品費	288		
	消耗品費	250	委託料	273	委託料	283		
	自動車借上料	58	負担金	276	負担金	41		
	その他	1,860	その他	1,610	その他	2,358		
	特定　　一般	2,641	特定　　一般	21,535	特定　　一般	27,750	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)	相談実績（相談のべ件数）(件)					評価指標(単位)	ワークショップの利用者数（人）				
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	3,038	2,533	2,481			実績値(事後評価)	50	106	125		
目標値		3,050	3,100	3,150	3,150	目標値		50	50	55	55

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	十分な成果があった
妥当性	4	高い			
有効性	3	やや高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	児童生徒、若者、保護者、学校や園からの相談に対し、状況や実態に応じて電話・来所・訪問等で対応した。経験が不足しがちな学校に行きづらい子どもを対象にワークショップを実施したり、不登校・ひきこもりの子どもを持つ保護者に対して保護者の会を開催した。 ※事業実施のため、資格・免許を有する会計年度任用職員の配置が必要なため、報酬その他も併せて総事業費としている。
成果	相談実績については昨年度同様に、学校・各関係機関と連携を図りながら、電話・来所・訪問・ケース会議という形態で、柔軟に相談活動を実施している。講師を招聘し、ワークショップを実施することにより、多くの児童生徒の参加が得られ、保護者の会は不登校を考える保護者の会には29名、ほっとスペース家族の会には26名が参加しており、様々な活動が子どもや保護者の支援につながっている。
課題	子ども・若者の総合相談窓口機能も有しているため、義務教育修了後の若者世代の相談が増加している。ひきこもり状態、就労支援に向けて支援を行う際に、単一機関だけの支援は困難な場合もあり、地域の社会資源の掘り起こし、効果的な連携支援のもとに成功事例を重ねていく段階である。
今後の方向性	市内児童生徒の不登校者数が増加している現状により、適応指導教室の需要が高まっている。各校でも自立応援室が整備され、学校と適応指導教室を併用するケースも増加している。そのため、児童生徒への個別支援の充実と各校との情報共有体制の整備を充実させる取組を推進する。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	機械科教育振興事業		担当課	玉野商工高校
目的 対象	機械科生徒			
目的 意図	地元企業等と連携し、実践的な特色ある教育活動に取り組む。		政策体系	２－３
手段	実習先企業に務める現役職人やＯＢ等から直接指導を受けるとともに、工場・企業見学を行う。		新規／継続	継続

年度別事業内容	R5	R6	R7	R8
	企業での実習授業	企業での実習授業	企業での実習授業	
	工場・企業見学	工場・企業見学	工場・企業見学	

事業費・財源	R5		R6		R7		R8	
	総事業費　（千円）	2,358	総事業費　（千円）	2,449	総事業費　（千円）	2,673	総事業費　（千円）	
	消耗品費	421	消耗品費	380	消耗品費	650		
	施設修繕料	44	電信料	78	電信料	85		
	機械器具保守委託料	110	機械器具保守委託料	110	機械器具保守委託料	110		
	自動車借上料	293	自動車借上料	245	自動車借上料	300		
	光熱水費等実費負担金	1,456	光熱水費等実費負担金	1,471	光熱水費等実費負担金	1,471		
	その他	34	その他	165	その他	57		
	特定　　一般	2,358	特定　　一般	2,449	特定　　一般	2,673	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)	機械科の入学人数					評価指標(単位)					
年度	現状値(R1)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	40	28	36	38		実績値(事後評価)					
目標値		40	40	40		目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	機械科の授業として週に1日地元企業で実習を行う。 また、地元の工場・企業等の見学を行う。
成果	企業での実習授業では熟練した職人から直接技術指導を受けられ技能のスキルアップにつながっている。 また、工場・企業見学により現場の状況卒業後の進路の判断材料となっている。
課題	バス代が高騰しており同規模の予算では十分な企業見学が出来ない。 また、ふるさとづくり基金からの繰り入れで事業を行っているが、基金が枯渇した時の事業継続の方法が未定。
今後の方向性	引き続き地元企業と連携し、機械のスペシャリストを養成する。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	学校運営協議会運営事業		担当課	学校教育課
目的	対象	玉野市内小中高等学校		
	意図	「地域とともにある学校」として、市内全小中高等学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールの充実を図り、学校と地域がビジョンを共有し、連携・協働して子どもたちを育むことができるようにする。	政策体系	３－３
手段	学校運営協議会を設置し、各校に学校運営協議会委員を任命し、報酬を支払う。		新規／継続	継続

年度別事業内容	R5	R6	R7	R8
		学校運営協議会委員任命	学校運営協議会委員任命	

事業費・財源	R5		R6		R7		R8	
	総事業費　（千円）		総事業費　（千円）	689	総事業費　（千円）	1,080	総事業費　（千円）	
			学校運営協議会委員報酬	689	学校運営協議会委員報酬	1,080		
	特定	一般	特定	一般 689	特定	一般 1,080	特定	一般

○評価指標

評価指標(単位)	学校運営協議会設置校数（２３校）					評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	0.0		23			実績値(事後評価)					
目標値			23			目標値					

評価指標(単位)	学校サポートスタッフ（部活動指導員）配置					評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	4	高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	各校に学校運営協議会を設置し、学校規模に応じて学校運営協議会委員を任命し、各校学校運営協議会を年間２～５回程度開催し、地域にとともにある学校についての熟議を進めた。
成果	各校の運営方針について、地域の意見を取り入れた計画が行われるとともに、学校長の学校運営方針について地域の了承をいただいた。 学校の課題解決や地域連携充実のための熟議が行われた。また、学校と地域が連携をした取り組みが行われる学校もあった。
課題	より、充実した会とするための、学校運営協議会委員の選出について検討する必要がある。
今後の方向性	学校運営協議会の設置は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」においても普及が推進されており、学校と地域の連携により、子どもへの多面的な支援や、地域資源の活用などの効果が見られるため事業を継続していく。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	青少年育成センター管理運営事業		担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	青少年の見守り活動を行い、青少年の非行防止と健全な育成のため、学校、地域、警察などの関係機関と連携する。	政策体系	
手段	街頭補導や機関紙「みちびき」の発行を通して、青少年健全育成活動に対する市民への意識啓発を行う。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	街頭補導、啓発活動、環境浄化活動	街頭補導、啓発活動、環境浄化活動	街頭補導、啓発活動、環境浄化活動	
事業費・財源	総事業費　（千円） 7,726	総事業費　（千円） 8,290	総事業費　（千円） 466	総事業費　（千円）
	報奨金・賞賜金 37	報奨金 32	報奨金 32	
	費用弁償 254	費用弁償 257	費用弁償 80	
	印刷製本費 50	印刷製本費 50	印刷製本費 60	
	看板製作委託料 85	看板製作委託料 85	看板製作委託料 85	
	中学校区連絡協議会補助 143	中学校区連絡協議会補助 143	中学校区連絡協議会補助 143	
	その他 7,157	その他 7,723	その他 66	
	特定　一般 7,726	特定　一般 8,290	特定　一般 466	特定　一般

○評価指標

評価指標(単位)	街頭補導実施回数					評価指標(単位)	機関誌の発行回数				
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	157	152	160			実績値(事後評価)	7	7	6		
目標値		157	160	160		目標値		7	6	6	

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	4	高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	・警察、PTA、青少年健全育成連絡協議会等、関係諸団体と連携を図りながら巡回活動や看板設置に取り組み、安全確保に努めた。 ・補導は、１年間を通して計160回実施し、指導員、教職員、PTA等、延べ436人が参加した。 ・機関紙「みちびき」は計6回発行し、学校園、警察、青少年育成団体、行政機関等の関係団体に配付した。
成果	・『岡山の少年非行』（岡山県警察）によると、市内の刑法犯少年の割合が0.19％（前年比+0.04％）、刑法犯少年が14人（前年比＋4人）、不良行為少年が62人（前年比▲20人）となっており、非行への入り口である不良行為は減少している。令和６年度中も、大きな問題は無く青少年の健全育成、とりわけ非行の抑止力としての成果が出ていると言える。
課題	・青少年を取り巻く環境が急速に変化し、スマートフォン・インターネットのサイト等で被害に遭うケースが増加している。啓発活動を継続し、適切な利用を推奨していきたい。 ・指導員を含め、一部で高齢化が進んでいるため、新たな担い手の発掘が課題である。
今後の方向性	児童・生徒が安心して、安全に地域で育つよう、引き続き地域や学校と連携しながら見守り活動を行っていく。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	給食センター管理運営事業・学校給食会運営補助事業		担当課	学校教育課
目的	対象	玉野市内小中学校　児童生徒		
	意図	安全安心な給食を安定的に供給し、学校給食の充実を図る。	政策体系	２－５
手段	PFIを活用し、給食センターの施設整備、運営及び維持管理を行う。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	給食センター運営業務の充実	給食センター運営業務の充実	給食センター運営業務の充実	
	給食センター維持管理業務の充実	給食センター維持管理業務の充実	給食センター維持管理業務の充実	
	施設購入費	施設購入費	施設購入費	
	給食費の補助		給食費の補助	

事業費・財源	総事業費　（千円）	316,233	総事業費　（千円）	285,081	総事業費　（千円）	336,039	総事業費　（千円）	
	給食センター運営業務委	207,866	給食センター運営業務委	216,576	給食センター運営業務委	215,325		
	給食センター維持管理業	37,027	給食センター維持管理業	37,095	給食センター維持管理業	38,342		
	学校給食会補助	41,212	施設購入費	28,259	施設購入費	28,281		
	施設購入費	28,238	その他	3,151	学校給食会補助	51,770		
	庁用器具費①	249			その他	2,321		
	その他	1,643						
	特定　0　一般	316,233	特定　0　一般	285,081	特定　　一般	303,189	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)	年間提供食数					評価指標(単位)	食育指導の回数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)		715,068	704,661			実績値(事後評価)		208	198		
目標値		715,068	704,661			目標値		208	198		

評価指標(単位)	保護者の負担軽減額（千円）					評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)		41,212	0			実績値(事後評価)					
目標値		41,212	0			目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	4	高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	①事業者に給食業務を委託し安心安全な給食を提供することに努めた。 ②食育の推進に向け学校と連携して指導を行った。
成果	①市内小中学校に安定的に給食を提供した。 ②学校に栄養教諭が赴き、学校と協力して食指導を行った。
課題	①近年、物価が高騰しており、委託料が当初の予定より増加傾向にある。 ③給食費の恒久的な軽減・無償化に向けては、多額の経費が継続的に必要となり、財源確保が難しい。
今後の方向性	学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全の発達のために大変重要な役割を果たしており、安全安心な給食を安定的に供給する必要がある。今後、課題解決に努めるとともに、施設整備・運営及び維持管理の徹底に取り組み、学校給食の一層の充実を図っていく。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	講座開催事業		担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	各種主催イベント及び定期講座を効果的に実施する。	政策体系	２－６
手段	各種主催イベント及び定期講座の開催についてホームページ、各公民館を通じ周知させる。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	主催イベント、定期講座の自己評価	主催イベント、定期講座の自己評価	主催イベント、定期講座の自己評価	
	開催団体や講師による開催内容の評価	開催団体や講師による開催内容の評価	開催団体や講師による開催内容の評価	

事業費・財源	総事業費　（千円）	1,012		総事業費　（千円）	1,085		総事業費　（千円）	1,185		総事業費　（千円）		
	報償金	993		報償金	1,076		報償金	1,153				
	消耗品費	18		消耗品費	9		消耗品費	30				
	食糧費	1					食糧費	2				
	特定	1,012	一般	特定	1,045	一般	40	特定	1,185	一般	0	特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)	各種主催イベント及び定期講座の定員に対する参加者の割合（%）					評価指標(単位)					
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	52.8%	47.0	54.5			実績値(事後評価)					
目標値		70.0	70.0	70.0	70.0	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	3	やや高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	3	やや高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	各定期講座では、申込率は低いが、出席率は高いところで維持。主催イベントでは、入場制限などを設けずに実施。
成果	Ｒ６年度の主催イベントは、ミネルバコンサート（ジャズ、箏、オカリナ）延べ約430人、作品展延べ約130人の来場者があった。また、定期講座は、９講座開催し、延べ約1,100人が受講した。
課題	受講生の多くが継続で受講するケースがほとんどであるため、新規受講申し込みの増加を図りたい。
今後の方向性	募集方法について検討し、広く周知したい。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		講座事業	担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	地域住民に対し、心豊かな生活をするために趣味・実技・実務的内容の学習講座を開設し、生涯学習を推進する。	政策体系	２－６
手段		各公民館で定期講座・特別講座等を開催する。	新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	定期講座・特別講座の開講	定期講座・特別講座の開講	定期講座・特別講座の開講	
	グループ講座の推進	グループ講座の推進	グループ講座の推進	

	R5		R6		R7		R8	
事業費・財源	総事業費　（千円）	244	総事業費　（千円）	170	総事業費　（千円）	504	総事業費　（千円）	
	報償金	244	報償金	170	報償金	500		
					旅費	3		
					食糧費	1		
	特定 244 一般	0	特定 170 一般	0	特定 504 一般	0	特定 一般	

○評価指標

評価指標(単位)	講座受講者延べ人数					評価指標(単位)	登録グループ数				
年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	6,606	8,347	8,530			実績値(事後評価)	329	276	298		
目標値		6,700	6,800	6,900	7,000	目標値		330	340	350	360

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討
妥当性	3	やや高い			
有効性	2	やや低い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	自館に生かせるよう他市公民館の優良な取り組みを紹介した他、特別講座を企画できるよう全館に講師用の報償費を配当した。
成果	新たに単発の特別講座を開催した館もあり、自主的な事業開発の萌芽が見られた。
課題	地域の課題を考え、取り組むという公民館本来の目的に沿うよう、引き続き公民館職員のスキル向上を促す必要がある。
今後の方向性	各公民館が地域の課題を探求し、改善できるような講座・事業を作ることを自覚する必要がある。地域での人材を発掘するほか、研修への積極的参加などにより各公民館職員のスキル向上を促す。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	地域人づくり大学事業		担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	地域での活動に役立つ知識・技術、人材育成のきっかけづくりを行う。	政策体系	２－６
手段	様々な学習機会を提供する。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	講座の開催	講座の開催	講座の開催	

事業費・財源	総事業費　（千円）	634	総事業費　（千円）	606	総事業費　（千円）	435	総事業費　（千円）	
	報償金	26	報償金	6	報償金	24		
	消耗品費	318	講座委託料	600	旅費	5		
	講座委託料	290			消耗品費	5		
					食糧費	1		
					講座委託料	400		
	特定　　一般	634	特定　　一般	606	特定　　一般	435	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)	講座の開催数					評価指標(単位)					
年度	現状値	R5（R3）	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	9	7	6			実績値(事後評価)					
目標値		10	10	10	10	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討
妥当性	3	やや高い			
有効性	3	やや高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	全6回の講座を開催。内容については次のとおり。8/7：災害ボランティア養成講座。10/2：短歌講座。10/5・12・19：玉野のお宝さがし。10/23：鳴戸親方講演会。
成果	全６回の参加者については、次のとおり。災害ボランティア養成講座：34名。短歌講座：15名。玉野のお宝さがし：30名、30名、28名。鳴戸親方講演会：350名。計487名が講座に参加。
課題	人材育成という本来の目的が果たせておらず、市民が学習・体験する一講座の開講となっている。今後は、事業の目的や進め方を見直す必要がある。
今後の方向性	事業の目的を次のように変更する。市民向けの各種講座・イベントの開催など、様々な学習機会を提供することで、市民の生涯学習や社会参加を推進する。（令和7年度より「たまのの講座事業」として実施）

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	生涯学習センター管理運営事業		担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	生涯学習センター管理及び運営をスムーズに実施する。	政策体系	２－６
手段	随時館内をチェックし、運営上支障がある箇所は修理や整備などを行う。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	適正な館内の管理及び運営	適正な館内の管理及び運営	適正な館内の管理及び運営	

	R5	R6	R7	R8
事業費・財源	総事業費　（千円）　5,582	総事業費　（千円）　5,558	総事業費　（千円）　5,935	総事業費　（千円）
	消耗品費　418	消耗品費　267	消耗品費　524	
	施設修繕料　1,502	施設修繕料　1,261	施設修繕料　1,402	
	電信料　316	電信料　299	電信料　341	
	委託料　3,088	委託料　3,525	委託料　3,415	
	機械器具借上料　93	機械器具借上料　93	機械器具借上料　93	
	その他　167	その他　113	その他　160	
	特定　641　一般　4,942	特定　591　一般　4,967	特定　829　一般　5,106	特定　　一般

○評価指標

評価指標(単位)	各種主催イベント及び定期講座の定員に対する参加者の割合（%）					評価指標(単位)					
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	52.8%	47.0	54.5			実績値(事後評価)					
目標値		70.0	70.0	70.0	70.0	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	3	やや高い			
有効性	3	やや高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	施設（玉野市生涯学習センター及び玉野備南高等学校）の貸館業務。玉野市生涯学習センターにおいて、講座及びイベントの企画・実施。
成果	令和6年度の施設使用状況は、延べ約9,500人であった。空調設備の施設修繕を行った。
課題	床からの漏水や雨漏りなど、施設の老朽化が著しい。また、貸出用の機器や視聴覚設備、及び家具類は老朽化または故障等のため更新が必要。国際交流センターほか、展示物が乱雑に置かれており、整理が必要。ユニバーサルデザインの考えを取り入れ、トイレの洋式化や多目的ホールのステージに上がるためのスロープなどの導入が必要。高山ドームでは、風雨の影響を受け火災報知器が誤作動により発報するため、機器の更新が必要。
今後の方向性	生涯学習センター（玉野備南高等学校）の空調設備の更新、及び電気のＬＥＤ化により電気器具の更新を実施予定。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		社会教育施設管理運営事業	担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	市民の交流の場、学習の場を提供する。	政策体系	2 － 6
手段		中央公民館として市内地域の公民館と連携しながら、貸館や講座、展示会等を開催する。市民の学習環境を整えるため、書籍の冊数や館内の環境を整備する。	新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	図書館の運営（指定管理）	図書館の運営（指定管理）	図書館の運営（指定管理）	
	中央公民館の運営（指定管理）	中央公民館の運営（指定管理）	中央公民館の運営（指定管理）	

事業費・財源	総事業費　（千円）	138,671		総事業費　（千円）	137,254		総事業費　（千円）	133,482		総事業費　（千円）	
	委託料	114,950		委託料	114,950		委託料	114,950			
	負担金補助及び交付金	23,721		負担金補助及び交付金	22,304		負担金補助及び交付金	18,532			
	特定		一般 138,671	特定		一般 137,254	特定		一般 133,482	特定	一般

○評価指標

評価指標(単位)	図書館及び中央公民館の来館者数					評価指標(単位)	貸出冊数				
年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	272,994	358,912	357,493			実績値(事後評価)	370,450	343,652	332,692		
目標値		400,000	400,000	400,000	400,000	目標値		400,000	400,000	400,000	400,000

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	毎月指定管理者と連絡調整会議を開催した他、問題が発生した場合には連携して対処した。
成果	指定管理者との確かな協力体制の構築により、安定した事業運営ができた。
課題	引き続き安定した事業運営ができるよう協力体制の維持を図る。
今後の方向性	Ｒ9年度の指定管理更新に向けた事業内容の精査を行う。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		公民館管理運営事業	担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	地域住民に対し社会教育の場を提供する。	政策体系	２－６
手段		各公民館を適切に運営する。	新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	法定点検等の実施	法定点検等の実施	法定点検等の実施	
	環境整備	環境整備	環境整備	

	R5		R6		R7		R8	
事業費・財源	総事業費　（千円）	36,156	総事業費　（千円）	36,717	総事業費　（千円）	43,246	総事業費　（千円）	
	消耗品費	1,959	消耗品費	2,058	消耗品費	2,909		
	電気料	16,099	電気料	14,425	電気料	18,307		
	施設修繕料	3,551	施設修繕料	3,996	施設修繕料	5,534		
	電信料	1,982	電信料	1,996	電信料	2,200		
	委託料	8,061	委託料	9,810	委託料	8,897		
	その他	4,506	その他	4,432	その他	5,399		
	特定 6,458	一般 29,698	特定 6,270	一般 30,447	特定 7,654	一般 35,592	特定	一般

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	法定点検等必要な維持管理を実施した他、修繕が必要な施設・箇所への対応を行った。
成果	消防設備を中心とした修繕を実施し、施設の安全性を向上させた。
課題	引き続き老朽化・劣化等により修繕が必要な施設が多数ではあるが、公民館施設の適正規模化を見据えての優先順位の付け方を慎重に検討していく必要がある。
今後の方向性	省エネ・省資源化を周知徹底し支出を減らす。 計画的な修繕の実行により安定した施設運営を継続できるよう、修繕計画を策定する。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	公民館整備事業		担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	地域住民に対し、社会教育の場を提供する。	政策体系	２－６
手段	各公民館の不具合を調べ、適宜改修等を行う。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	計画修繕の実施	計画修繕の実施	計画修繕の実施	
	緊急修繕の実施	緊急修繕の実施	緊急修繕の実施	

事業費・財源	総事業費　（千円）	17,845		総事業費　（千円）	4,620		総事業費　（千円）	110,208		総事業費　（千円）		
	整備工事請負費	17,845		委託料	4,620		整備工事請負費	110,208				
	特定	16,200	一般	特定	4,600	一般	特定	104,400	一般	特定		一般
		1,645			20			5,808				

○評価指標

評価指標(単位)	建築基準法点検における要是正箇所の改修					評価指標(単位)					
年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	0	1	0			実績値(事後評価)					
目標値		2	2	2	2	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	老朽化により不調を来している荘内公民館の全館空調の実施設計を行った。
成果	懸念事項であった空調改修に向けた実施設計を行い、荘内公民館の利用環境の改善を進めることができた。
課題	未だ多くの施設で老朽化による損傷・経年劣化による不調がある。引き続き建物の維持管理において優先されるべき事項を整理し、施設の現状を正確に把握して、計画的な改修へとつなげていく必要がある。
今後の方向性	従前は全ての公民館の不調を優劣を付けずに把握していたため、施設運営にとって根幹である電気・空調に致命的な不調を来してきた。今年度、建物の維持管理において優先されるべき事項の整理および施設の現状把握を進めることができたので、これらを生かして次年度以降も引き続き計画的な改修へとつなげる。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		図書館管理運営事業	担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	図書館の業務委託に含まれない経費の管理を行い、図書館の安定的運営を維持する。	政策体系	２－６
手段		電算システムの借上や保守委託、めばる号等の公用車維持、負担金の支払い	新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	電算管理システム維持管理	電算管理システム維持管理	電算管理システム維持管理	
	公用車維持管理	公用車維持管理	公用車維持管理	
	協会負担金支出	協会負担金支出	協会負担金支出	

	R5		R6		R7		R8	
事業費・財源	総事業費　（千円）	4,339	総事業費　（千円）	4,198	総事業費　（千円）	4,524	総事業費　（千円）	
	自動車修繕料	84	自動車修繕料	23	自動車修繕料	300		
	自動車損害保険料	20	自動車損害保険料	0	自動車損害保険料	24		
	委託料	2,482	委託料	2,482	委託料	2,482		
	器具借上料	1,694	器具借上料	1,492	器具借上料	1,492		
	負担金補助及び交付金	32	負担金補助及び交付金	32	負担金補助及び交付金	32		
	その他	29	その他	169	その他	194		
	特定　50　一般	4,289	特定　50　一般	4,148	特定　50　一般	4,474	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	図書館の業務委託に含まれない移動図書館車の修繕料や器具借上料、負担金等の経費の管理を行った。
成果	図書館の安定的運営を維持することができた。
課題	適切な維持管理及び運営がされるよう、引き続き定期的にヒアリングを行い、チェックしていく必要がある。
今後の方向性	次期指定管理者決定まで、事業を現水準のまま継続する。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		部活動地域移行検討事業	担当課	社会教育課
目的	対象	玉野市立中学校の生徒		
	意図	中学生がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる環境を整備する。	政策体系	
手段		部活動地域移行検討委員会の設置及び実証事業として外部指導者による合同の練習会等を実施する。	新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	検討員会の設置	運営体制や運営主体の構築	運営体制や運営主体の構築	
	実証事業の実施	実証事業の実施	実証事業の実施	

	R5		R6		R7		R8	
事業費・財源	総事業費　（千円）	364	総事業費　（千円）	401	総事業費　（千円）	2,480	総事業費　（千円）	
	報償金	243	報償金	199	報償金	137		
	旅費	25	旅費	7	旅費	15		
	消耗品費	10	消耗品費	5	消耗品費	50		
	郵便料	6	傷害保険料	46	郵便料	10		
	傷害保険料	46	委託料	144	委託料	2,268		
	自動車借上料	36						
	特定　239　一般	125	特定　292　一般	109	特定　2,268　一般	212	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)	検討委員会の開催数（R7～玉野地域クラブ協議会役員会）					評価指標(単位)	実証事業を実施した回数				
年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)		2	1			実績値(事後評価)		14	17		
目標値		6	4	4		目標値		6	10	160	

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	・部活動地域移行検討委員会を開催し、玉野市の方針案等を協議した。 ・外部指導者および兼職兼業教員による実証事業（令和6年10月～令和６年１月）を実施した。 陸上競技（1回）、バスケットボール（2回）、軟式野球（計4回）、サッカー（計7回）、吹奏楽（計3回）
成果	・実証事業を通じて、複数の学校の生徒が同じ活動を行う体制を構築することができた。 ・小学校6年生も実証活動に参加し、中学校進学後の具体的なイメージをもつことができた。 ・学校開放事業で市内学校施設を活動場所として利用することで、指導者が学校関係者を介することなく会場を使用することができた。
課題	・部活動に対する生徒や保護者のニーズ、顧問である教職員の思いには個々に大きな差がある。本市における部活動地域移行のゴールイメージを具体化し、市内で共有を図ることが必要である。 ・指導者の確保や、受益者負担への生徒・保護者の理解、生活困窮世帯への支援策の検討など、協議・検討が必要である。
今後の方向性	令和７年度は、玉野地域クラブ協議会の運営を通して実証事業を行うとともに、運営体制の構築を目指す。また、指導者の確保や実施団体との調整、学校現場との調整や、関係団体、生徒、保護者への説明機会を増やす。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	文化協会運営補助事業		担当課	社会教育課
目的	対象	文化協会		
	意図	文化協会活動の支援	政策体系	2 － 7
手段	文化協会の事務局となり、各団体の行事で使用する会場（公民館等）の調整及び申請などを行う。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	活動費の支給	活動費の支給	活動費の支給	
	各団体の活動支援	各団体の活動支援	各団体の活動支援	
	表彰状贈呈式の開催	表彰状贈呈式の開催	表彰状贈呈式の開催	

事業費・財源	総事業費　（千円）	428	総事業費　（千円）	490	総事業費　（千円）	490	総事業費　（千円）	
	負担金補助及び交付金	428	負担金補助及び交付金	490	負担金補助及び交付金	490		
	特定	一般 428	特定	一般 490	特定	一般 490	特定	一般

○評価指標

評価指標(単位)	加盟団体数					評価指標(単位)					
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	22	22	22			実績値(事後評価)					
目標値		22	22	22	22	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	所属団体への活動費の支給及び支援。 玉野市文化協会表彰状贈呈式を執り行い、6名の部会員に表彰状を贈呈した。
成果	各団体の展覧会や発表会に対する支援等を行うことで、広く市民へ文化・芸術に触れる機会を提供した。
課題	今後、各部の新規部会員の獲得に向けた取組や支援のほか、日頃の成果を発表する機会や場所の整備が課題。
今後の方向性	各団体による新規部会員獲得に向けた周知活動や、成果発表の機会に対する支援を継続していく。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		市民コンサート事業	担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	音楽（文化）に触れる機会の提供	政策体系	２－７
手段		毎年、市内音楽団体の資質向上を図るため、市内の合唱団体、中高吹奏楽部・吹奏楽団体等のコンサートを開催する。	新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	市民コンサートの実施	市民コンサートの実施	市民コンサートの実施	
事業費・財源	総事業費　（千円）　270	総事業費　（千円）　570	総事業費　（千円）　570	総事業費　（千円）
	委託料　270	委託料　570	委託料　570	
	特定　一般　270	特定　一般　570	特定　一般　570	特定　一般

○評価指標

評価指標(単位)	コンサート開催回数					評価指標(単位)	入場者数				
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	3	4	5			実績値(事後評価)	118	1,700	1,736		
目標値		4	4	4	4	目標値		1,200	1,200	1,200	1,200

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討
妥当性	3	やや高い			
有効性	3	やや高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	「交響曲第九番」合唱付、玉野吹奏楽フェスティバル、玉野合唱祭、市民コンサート、楽しいコンサートの計５事業を実施。
成果	目標値を上回る入場者数があり、多くの市民が音楽に触れられる機会を提供できた。
課題	体育施設や小規模ホール、学校施設等を利用し演奏会を行っていることから、一定規模の人数が収容でき、 音響設備の整ったホール等の整備を求める声もある。また、公演会場の各種工事状況により、開催日や 開催場所が一部変更となった。 新たな事業「楽しいコンサート」では、想定以上の入場者数があり安全面から開場１５分で入場を打ち切っており、 新規事業を展開する際の集客数等の想定が必要である。
今後の方向性	市民コンサート実行委員会と連携し、現在実施中の事業を継続するとともに、 好評な事業については、公演回数増加等の対策を検討する。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		芸術文化振興事業	担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	文化振興活動の活性化	政策体系	2 － 7
手段		市内各地に伝わる文化芸能等の保護育成及び新たな創造活動に対し、助成を行う	新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	申請事業の選定、助成金の交付	申請事業の選定、助成金の交付	申請事業の選定、助成金の交付	
	美術秀作展	美術秀作展	美術秀作展	
	西行賞実行委員会	西行賞実行委員会	西行賞実行委員会	
	芸術文化振興助成	芸術文化振興助成	芸術文化振興助成	
		新たな芸術・文化の拠点施設の検討	新たな芸術・文化の拠点施設の検討	
事業費・財源	総事業費　（千円）　432	総事業費　（千円）　470	総事業費　（千円）　559	総事業費　（千円）
	消耗品費　14	報償金　50	報償金　0	
	委託料　200	旅費　58	旅費　12	
	有料道路通行料　9	消耗品費　15	消耗品費　48	
	負担金補助及び交付金　30	食糧費　0	食糧費　24	
	助成金　180	委託料　200	委託料　200	
		その他　147	その他　275	
	特定　一般　432	特定　10　一般　460	特定　一般　559	特定　一般

○評価指標

評価指標(単位)	助成件数					評価指標(単位)	短歌投稿者数（西行賞）				
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	0	1	1			実績値(事後評価)	368	371	374		
目標値		1	1	1	1	目標値		400	400	400	400

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討
妥当性	3	やや高い			
有効性	2	やや低い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	芸術文化振興助成金は１件の助成を行った。 玉野美術秀作展を開催したほか、西行賞表彰式、小中学生を対象とした「ジュニア西行賞」を新設し、 広く文化に触れられる環境作りに努めた。 岐阜県可児市文化創造センターを視察し、先進地における整備手法等を調査研究。
成果	芸術文化振興助成金の交付により、被助成金交付団体の活動の発展に寄与した。 玉野美術秀作展は延べ901名の来場があった。また、西行賞においては374名、613首、ジュニア西行賞では353名（首）の応募があり、広く市内外に芸術・文化に触れる機会を提供した。 また、新たな芸術・文化拠点施設の検討において、早期から広く市民の意見を取り入れる必要性を認識した。
課題	芸術文化振興助成金：新規申請団体を増やすため、効果的な周知広報活動方法の検討。 西行賞、ジュニア西行賞：投稿数を増加するため、効果的な広報活動方法の検討。 玉野美術秀作展：作家の高齢化により、作品搬入等が困難となり、出展数が減少している。 新たな芸術・文化拠点施設の検討：市民ニーズ等の把握や方法。財源の確保。
今後の方向性	玉野美術秀作展：周知方法の見直しにより、来場者を増加させ、市民が広く芸術・文化に触れる機会の創出を行う。 西行賞：さらに広く多くの人に芸術・文化に触れる機会を提供するため、俳句部門の新設を検討。 芸術・文化振興助成事業：過去に交付歴のない団体への周知方法・募集タイミング等の改善により、新しい団体の申請数を増加させるなど、芸術・文化振興活動の活性化を図る。 新たな芸術・文化拠点施設の検討：市内関係団体及び将来の利用者となりうる子ども達等、広く意見交換を実施。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	文化・スポーツ顕彰事業		担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	玉野市の文化・スポーツの充実・発展を促す。	政策体系	２－７、８
手段	文化・スポーツの分野で優秀な成績を修め、また長年にわたりその普及振興に尽くした個人及び団体を顕彰する。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	文化・スポーツ顕彰表彰	文化・スポーツ顕彰表彰	文化・スポーツ顕彰表彰	

事業費・財源	総事業費　（千円）	348	総事業費　（千円）	221	総事業費　（千円）	553	総事業費　（千円）	
	報償金	39	報償金	26	報償金	39		
	賞賜金	307	賞賜金	192	賞賜金	506		
	消耗品費	2	消耗品費	3	消耗品費	8		
	特定　一般	348	特定　一般	221	特定　一般	553	特定　一般	

○評価指標

評価指標(単位)	日頃、芸術に触れる機会のある市民の割合（%）					評価指標(単位)					
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	26.9	32.8	34.1			実績値(事後評価)					
目標値		39.0	40.0	41.0	41.8	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	3	やや高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	3	やや高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	玉野市文化・スポーツ顕彰表彰式を執り行い、功労者4名、栄光賞１名を顕彰した。
成果	11月3日（文化の日）に式典を執り行い、文化・スポーツの充実・発展を図った。
課題	受賞要件に該当する個人・団体の情報収集。
今後の方向性	多方面に推薦依頼の案内を実施し、より一層被推薦者の発掘を行う。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	トップアスリート・トップアーティスト招聘事業		担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	本市の競技スポーツ・芸術文化発展を担う人材の育成ならびに本市生涯スポーツ・芸術文化の振興に資する	政策体系	２－７、８
手段	国内外で活躍するアスリート・アーティスト及びその指導者を招聘し広く子ども等に技術・芸術文化に接する機会を提供する事業に対し、補助金を交付する。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	補助金の交付	補助金の交付	補助金の交付	
事業費・財源	総事業費　（千円）　1,096	総事業費　（千円）　1,250	総事業費　（千円）　1,250	総事業費　（千円）
	負担金補助及び交付金　1,096	負担金補助及び交付金　1,250	負担金補助及び交付金　1,250	
	特定　一般　1,096	特定　一般　1,250	特定　一般　1,250	特定　一般

○評価指標

評価指標(単位)	補助金交付件数					評価指標(単位)					
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	3	5	6			実績値(事後評価)					
目標値		5	5	5	5	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	3	やや高い		B	事業の進め方の改善を検討
有効性	3	やや高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	国内外で活躍するアスリート・アーティスト及びその指導者を招聘し、広く子ども等に技術・芸術文化に接する機会を提供する事業者に補助金を交付。
成果	トップアーティスト３件、トップアスリート３件の招聘を補助し、子ども達の芸術に対する興味や感性への刺激、スポーツに関する意欲、技術向上が見られた。 また、積極的な周知により、新規団体からの申請が増加した。
課題	申請団体及び内容が固定化しており、新たな分野や団体からの申請がほしい。
今後の方向性	新規申請団体の助成を拡充するため、連続の申請や、実施内容、招聘者が前年と同様な場合は減額又は不交付とするなど、交付方法の見直しを検討する。また、引き続き申請団体数が想定申請数を上回る状況が続けば、予算の増額を検討する。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	文化財保護事業		担当課	社会教育課
目的	対象	文化財（器物・建造物など）		
	意図	市内の重要な文化財の保守、管理、調査を行い、本市の歴史を後世に伝える	政策体系	２－７
手段	市有文化財の管理、市内文化財の紹介・管理状況の確認及び埋蔵文化財包蔵地の確認		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	文化財保護委員会の運営	文化財保護委員会の運営	文化財保護委員会の運営	
	市内の文化財の保守、管理、調査	市内の文化財の保守、管理、調査	市内の文化財の保守、管理、調査	
	文化財保護強調週間のイベント実施	文化財保護強調週間のイベント実施	文化財保護強調週間のイベント実施	
	埋蔵文化財包蔵地の確認	埋蔵文化財包蔵地の確認	埋蔵文化財包蔵地の確認	

	R5	R6	R7	R8
事業費・財源	総事業費　（千円）　1,642	総事業費　（千円）　759	総事業費　（千円）　595	総事業費　（千円）
	報償金　76	報償金　73	報償金　100	
	費用弁償　10	費用弁償　2	費用弁償　40	
	消耗品費　117	消耗品費　157	消耗品費　132	
	印刷製本費　140	印刷製本費　68	印刷製本費　68	
	委託料　1,291	委託料　461	委託料　208	
	その他　9	その他　1	その他　47	
	特定　833　一般　809	特定　5　一般　754	特定　7　一般　588	特定　　一般

○評価指標

評価指標(単位)	文化財保護強調週間イベント					評価指標(単位)					
年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	1	1	2			実績値(事後評価)					
目標値		1	1	1	1	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	3	やや高い		B	事業の進め方の改善を検討
有効性	3	やや高い			
効率性	2	やや低い			

取組内容	文化財保護委員会の開催や研修会等参加、市内にある市指定文化財の草刈り、小学校３年生に「玉野市文化財地図」を配信。土器と塩づくりワークショップを前期（土器づくり）、後期（塩づくり）の2回実施。
成果	ワークショップの開催により、過去の文化財保護強調週間に行っていたイベントでは参加が見られなかった若い世代が参加するなど、幅広い世代が文化財に触れられる機会の提供が行えた。
課題	文化財保護強調週間に開催するワークショップは、玉野市の歴史や文化財に関連した内容を取り入れ、実施方法などを工夫し、多くの人に文化財に触れる機会を提供する必要がある。 文化財に関する専門職員の不在による、文化財の維持・管理。
今後の方向性	ワークショップの内容も単発で終わるのではなく、玉野市に関連のあるものを題材とし、体験を通して市内の歴史・文化財に対する知識を深めることができる講座を開催していく。また、指定文化財の現状の確認及び、記念物等の調査を行っていく。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	町並み保存拠点施設管理事業		担当課	社会教育課
目的	対象	八浜町並み保存拠点施設		
	意図	八浜の町並みを後世に伝える	政策体系	2 － 7
手段	拠点施設の修繕、庭園の剪定等による維持・管理を実施。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	庭園の草刈り・剪定	庭園の草刈り・剪定	庭園の草刈り・剪定	
	視察研修の実施	視察研修の実施	視察研修の実施	
	施設修繕	施設修繕	施設修繕	

	R5		R6		R7		R8	
事業費・財源	総事業費　（千円）	1,302	総事業費　（千円）	979	総事業費　（千円）	1,373	総事業費　（千円）	
	電気料	134	電気料	78	電気料	228		
	施設修繕料	550	施設修繕料	428	施設修繕料	480		
	電信料	47	電信料	47	電信料	68		
	手数料	33	手数料	33	手数料	33		
	委託料	475	委託料	342	委託料	454		
	その他	63	その他	53	その他	110		
	特定　　一般	1,302	特定　　一般	979	特定　　一般	1,373	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	－					実績値(事後評価)					
目標値		－	－	－	－	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討
妥当性	3	やや高い			
有効性	2	やや低い			
効率性	2	やや低い			

取組内容	敷地内外の草木の剪定及び防蟻点検など、施設全体の適切な維持管理に努めた。
成果	庭園の草刈りや剪定のほか、シロアリ被害のため破損した竹柵の修繕を行い、景観維持に努めたほか、各種点検を行い施設全体を適切に維持管理を行えた。
課題	臨時休館日の増加により来場者数が減少している。 エアコン設備の老朽化による故障。
今後の方向性	引き続き施設の維持管理を実施すると共に、新しい施設の活用や集客の方法について検討する。 エアコン設備の修繕。 開館状況の適正化へ向け、指定管理者へ指導等を実施。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	社会体育事業関係事務		担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	市民の体育環境を整えるとともに、市域のスポーツに対する競技力や振興を図る。	政策体系	2 － 8
手段	学校の運動場や体育館を開放して市民のスポーツ・レクリエーションの場を広げる。スポーツ競技者の育成・振興を図るため激励金を支給する。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	激励会	激励会	激励会	
	スポーツ推進委員	スポーツ推進委員	スポーツ推進委員	

	R5		R6		R7		R8	
事業費・財源	総事業費　（千円）	1,698	総事業費　（千円）	1,507	総事業費　（千円）	2,371	総事業費　（千円）	
	報償金	1,008	報償金	1,008	報償金	1,104		
	賞賜金	260	賞賜金	355	賞賜金	500		
	費用弁償	195	費用弁償	0	費用弁償	346		
	旅費	25	旅費	0	旅費	103		
	消耗品費	109	消耗品費	44	消耗品費	149		
	その他	102	その他	100	その他	169		
	特定　　一般	1,698	特定　　一般	1,507	特定　　一般	2,371	特定　　一般	

○評価指標

評価指標(単位)	１年間に週１回以上スポーツをした市民の割合（%）					評価指標(単位)	体育施設の利用者数（人）				
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	38.7	37.2	39.7			実績値(事後評価)	103,526	161,817	153,984		
目標値		48.5	49.0	49.5	50.0	目標値		120,000	130,000	140,000	150,000

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	競技スポーツに積極的に取り組むクラブ等に対し、全国大会以上出場者に激励金を支給する。
成果	競技スポーツに積極的に取り組むクラブ等の育成と競技力の向上、振興を図ることができた。
課題	激励金の一部対象要件を明確化するため、激励金支給取扱要項の見直しが必要。
今後の方向性	激励金支給取扱要項を見直すとともに、引き続きスポーツ競技の育成に務めていく。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	玉野市スポーツ協会運営事業補助		担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	心身の健全な発達と市民生活の向上を図る	政策体系	2 － 8
手段	各種スポーツの振興に向け、指導者の養成や体育に関する行事などを行うスポーツ協会の活動を支援する。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	スポーツ協会補助	スポーツ協会補助	スポーツ協会補助	
事業費・財源	総事業費　（千円）　599	総事業費　（千円）　599	総事業費　（千円）　599	総事業費　（千円）
	補助金　599	補助金　599	補助金　599	
	特定　一般　599	特定　一般　599	特定　一般　599	特定　一般

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	3	やや高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	3	やや高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	玉野市スポーツ協会の運営費に対して補助を行う。
成果	体育・スポーツ振興を通じて、市民の心身の健康と明るく豊かな市民生活の向上に寄与した。
課題	少子高齢化及びコロナ禍の影響などにより、スポーツしている市民の割合も以前の状況まで戻っていない。
今後の方向性	引き続き、協会と連携しながら市民がスポーツできる環境を提供していく。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	玉野スポーツセンター運営補助事業		担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	運動・健康活動環境を整える。	政策体系	2 － 8
手段	公益財団法人岡山県体育協会に対し補助金を交付し、スポーツセンターの運営を支援する。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	運営費補助	運営費補助	運営費補助	
事業費・財源	総事業費　（千円）　6,270	総事業費　（千円）　6,270	総事業費　（千円）　6,270	総事業費　（千円）
	補助金　6,270	補助金　6,270	補助金　6,270	
	特定　一般　6,270	特定　一般　6,270	特定　一般　6,270	特定　一般

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価		
妥当性	3	やや高い		A	計画どおりに事業を進めることが適当
有効性	3	やや高い			
効率性	3	やや高い			

取組内容	玉野スポーツセンターの運営費に対して補助する。
成果	広域スポーツ拠点施設である玉野スポーツセンターの運営費に対し補助を行うことにより、市民のスポーツ活動の推進並びに健康増進を図った。
課題	施設建設から50年が経過しており、施設の老朽が見られる。 （※当センターは、県所管施設で県スポーツ協会が管理運営）
今後の方向性	当センターは、玉野市民の利用も多く、各競技の大会等も実施できる重要なスポーツ施設であるため、今後も引き続き施設運営について支援する。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名		体育施設管理運営事業	担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	運動・健康活動の場を提供する。	政策体系	2 － 8
手段		講座の開設、施設の適正管理を行う。	新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	計画修繕の実施	計画修繕の実施	計画修繕の実施	
	緊急修繕の実施	緊急修繕の実施	緊急修繕の実施	
	玉野市立体育施設等指定管理	玉野市立体育施設等指定管理	玉野市立体育施設等指定管理	
	体育施設管理委託	体育施設管理委託	体育施設管理委託	

事業費・財源	総事業費　（千円）	85,007		総事業費　（千円）	82,715		総事業費　（千円）	87,173		総事業費　（千円）	
	電気料	46		電気料	41		電気料	50			
	施設修繕料	7,576		施設修繕料	5,440		施設修繕料	9,876			
	手数料	44		手数料	7		手数料	44			
	委託料	77,342		委託料	77,228		保険料	25			
							委託料	77,178			
	特定	348	一般 84,659	特定		一般 82,715	特定		一般 87,173	特定	一般

○評価指標

評価指標(単位)	体育施設の利用者数（人）					評価指標(単位)					
年度	現状値(R3)	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)	103,523	161,817	153,984			実績値(事後評価)					
目標値		120,000	130,000	140,000	150,000	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	体育施設のうち、総合体育館・総合運動公園の管理運営業務について、指定管理者である玉野スポーツネットワークJVへ委託。渋川ヨット艇庫および北体育館については市が直接管理運営している。
成果	スポーツ、レクレーション活動等の指導および普及を図ることで、市民サービスの更なる向上を通じた社会教育施策を充実させることができた。
課題	老朽化の著しい北体育館等については、廃止など処分の検討が必要である。
今後の方向性	北体育館は利用がなければ処分に向けて検討する。また、体育施設の利用に当たり、市民が利用しやすくなるよう、減免等の取扱の見直しについても検討していく。

令和６年度　点検・評価シート

○実施計画

事務事業名	体育施設整備事業		担当課	社会教育課
目的	対象	市民		
	意図	運動・健康活動の場を提供する。	政策体系	２－８
手段	玉野市総合体育館（レクレセンター、昭和５８年建設、40年経過）で老朽化が進んでいる空調設備を改修する。		新規／継続	継続

	R5	R6	R7	R8
年度別事業内容	実施設計委託	施設改修工事	施設改修工事	
	施設修繕工事			

事業費・財源	総事業費　（千円）	7,997		総事業費　（千円）	0		総事業費　（千円）	125,800		総事業費　（千円）		
	実施設計委託料	6,380		工事請負費	0		工事請負費	125,800				
	工事請負費	1,617										
	特定	6,300	一般	特定	0	一般	特定	125,800	一般	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	年度	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事後評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当
妥当性	4	高い			
有効性	4	高い			
効率性	4	高い			

取組内容	老朽化した空調設備の改修を行う。（令和８年度までの債務負担事業）
成果	空調設備の改修を行うことで、玉野市総合体育館の利活用がさらに促進される。 しかしながら、4回の入札不調により、当年度の事業として執行できなかった。
課題	入札不調の要因を関係部署と精査する。
今後の方向性	令和7年度の施工に向けて執行関係部署と協議を進める。

■　玉野市教育振興会　会長　三浦　康男

従来の実施状況を加味しながら事業や計画を工夫しながら、しかも多角的な観点から令和６年度も児童・生徒達の健全な育成を目指していることに対し感謝申し上げます。４７事業の内、Ａの評価が３４、Ｂの評価が１３Ｃの評価は0と成果を挙げていただいています。子どもの減少により、学校の適正化の問題がありますが、この問題と併せて、特に充実した子育て環境の提供は、さらに工夫をいただければと思います。主な事業についてコメントいたします。

〇教育支援体制整備事業

将来を担う子どもたちを育成するための事業は大切であり、支援体制を効果のあるものに工夫してほしい。玉野市の取組を全国に発信したとのことであるが、中央で研修した全国の内容で、玉野市に行かせる内容があれば取り入れて欲しい。

〇おかやま子ども応援事業

地域とともにある学校づくりは、大切である。学校は地域のために何ができるか、地域は学校のために何ができるか、それぞれの具体策を連携して策定して推進して欲しい。

〇玉野市立学校適正規模化計画策定事業

今まで同様、学校関係者だけでなく、いろいろな立場の意見を聞きながら 推進して欲しい 。

〇グローバル人材育成事業

将来を担う子どもたちは、国内だけでなく外国へも注目することが今以上に必要であり、この事業はとても重要であると思います。学力調査における英語科の平均点も大切だが、児童生徒のコミュニケーション能力の向上に外国語指導助手のより充実した配置に期待したい。

〇たまのの魅力再発見・発信事業

上記事業で、外国に目を向けることが必要だと申しましたが、そのためには国内のこと、地域の事をまずは知ることが大切です。玉野は素晴らしいところと実感するためにも、地域を知り、良さを発見することはとても大切だと思います。

〇支援員配置事業

不登校児童の増加など児童生徒はますます多様化しており、個々の児童生徒に適した指導援助をするためには、この事業はとても重要だと思います。今後とも、更なる充実を期待しています。

〇部活動地域移行検討事業

学教の教員による部活動指導は、一定の効果を上げてきましたが、生徒の減少により部が成立しない種目もあり地域移行はどこにおいても、喫緊の課題だと思います。玉野市の生徒の実態に合った、指導の在り方をいろいろな面から検討・実施して欲しいと思います。

〇芸術文化振興事業

市内各地には,様々な文化や芸能があり、これらを保護・育成することはとても大切だと思います。これらを市民に周知し触れる機会を作るとともに、各種団体の協力を得て事業を皿に活発に展開してもらいたいと思います。

■　玉野市 PTA 連合会　会長　中島　正人

令和 6 年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告に関する意見書を以下に報告させていただきます。

◎グローバル人材育成事業について

ALT が全学校に配置されていることに成果を感じます。ネイティブの発音や異文化に触れる機会を持つことが英語の授業にしっかりと繋がっていると思います。ALT と教職員が授業の打合せをしっかりとしていただきこの成果が今後も続くように事業継続できるよう頑張ってもらいたいです。

◎GIGA スクール支援事業について

課題に記載されている通り ICT 支援員の需要が高いのではないかと思います。ですが逆に各校に必要な支援が行き届いてはいないのでは？

そうであれば支援員の増員、もしくは勤務日の増加は必須ではないかと思われます。1 人 1 台端末使用となり、今までなかった新たな作業やトラブルも増えているのではないかと。当然タブレット端末更新作業等もあるとすれば結局その業務は教職員だと思います。そうであれば負担を軽減するためにも予算をしっかり取っていただきサポート体制を構築すべきだと考えられます。

以上になります。微力ながら今後も玉野市の教育施策事業について協力させてください。

■　玉野商工会議所青年部　副会長　加藤　優子

日頃より、玉野市の子どもたちの健全育成と教育環境の充実のため、多大なるご尽力を賜り、心より御礼申し上げます。本意見書におきましては、報告書に記載の各事業につき、今後の更なる充実を願い、下記の通り意見を述べさせていただきます。

【13 ページ　子育て支援センター運営事業】

報告書において、アプリ等を活用した情報発信に取り組まれている旨の記載がありました。私自身もアプリを利用しておりますが、現状では公共施設や関係機関の案内が中心であり、民間事業者による子育て支援の情報が含まれておりません。民間事業者の情報を扱うには一定の調整が必要と存じますが、より多様な支援情報が公平に市民へ届く仕組みが整うことで、必要な支援にアクセスしやすくなると考えます。ぜひご検討いただければ幸いです。

【21 ページ　小学校大規模改造事業】

「空調整備の実施」についての記載がございました。教室の整備が優先であることは理解しておりますが、昨年度に引き続き、体育館への空調設備導入についてもご検討をお願い申し上げます。特に夏季の運動部活動は極めて過酷であり、児童生徒の安全確保の観点からも、適切な温熱環境の整備は喫緊の課題であると考えております。

【26 ページ　たまのの魅力再発見・発信事業】

本事業は極めて有意義な取り組みであると感じております。さらに SNS 等の媒体を積極的に活用し、事業内容を広く効果的に発信することで、玉野市の魅力がより多くの人々へ届くものと考えます。個人情報保護等の課題はあるものの、若年層を中心とした世代への情報発信において、SNS は有効な手段となり得ます。魅力あるまちづくりの発信が人口増加の一助となることを期待しております。

【27 ページ　スクールカウンセラーの設置】

我が家でも子どもが登校できない時期を経験し、その際、スクールカウンセラーとの面談に至るまでのハードルの高さを痛感いたしました。学校に行けない児童生徒に対し、学校にのみ相談窓口が設置されている現状には課題があると考えております。訪問支援を含む柔軟な支援体制の構築、あるいは学校外で相談できる仕組みづくりをご検討いただきたく存じます。

以上、令和 6 年度点検・評価報告書に関する意見として提出いたします。